

第2部 調査結果の分析

第1章 基本集計

1 食事の様子

食事の場面でみられる食行動は、年齢があがるにつれて、「大人が手伝わずに毎食自分で食べる」者が増加している。また、「テレビを見ながら食べる」者は、各年齢とも60%程度みられる。

「野菜をほとんど食べない」、「匕しをついで食べる」、「かまぼこを飲みする」者は、男子の方が多く、「ぐずぐず（だらだら）食べる」、「家族とお話をしながら食べる」、「おはしを使える」者は、女子の方が多い。

1-1-1. 大人が手伝わずに毎食自分で食べる（年齢別）

男女とも、「大人が手伝わずに毎食自分で食べる」者は、年齢があがるにつれて増加している。

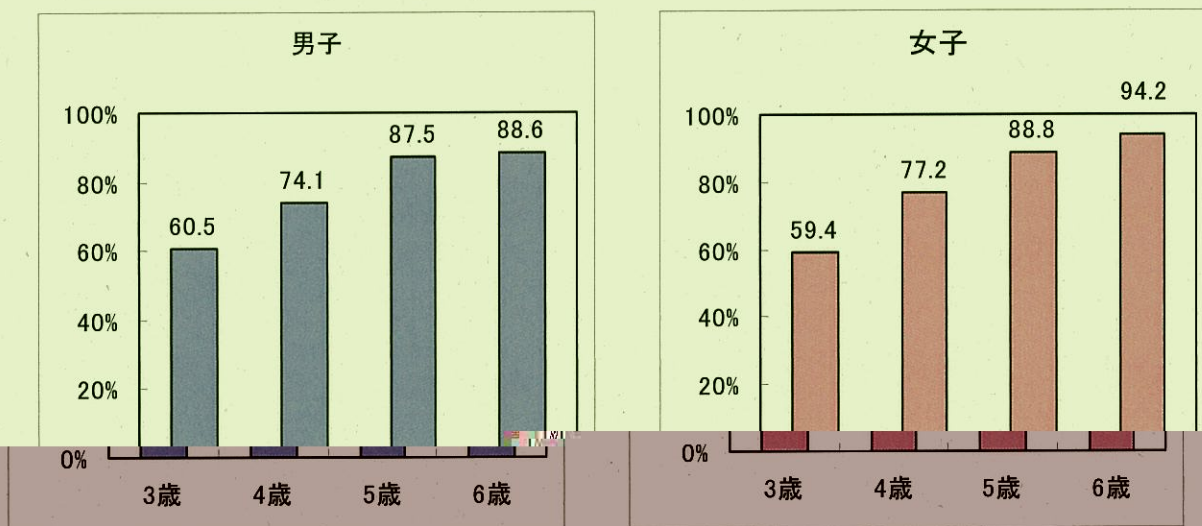


図1-1-1. 大人が手伝わずに毎食自分で食べる（年齢別）

1-1-2. テレビを見ながら食べる（年齢別）

男女とも、「テレビを見ながら食事をする」者は、各年齢において60%程度見られる。

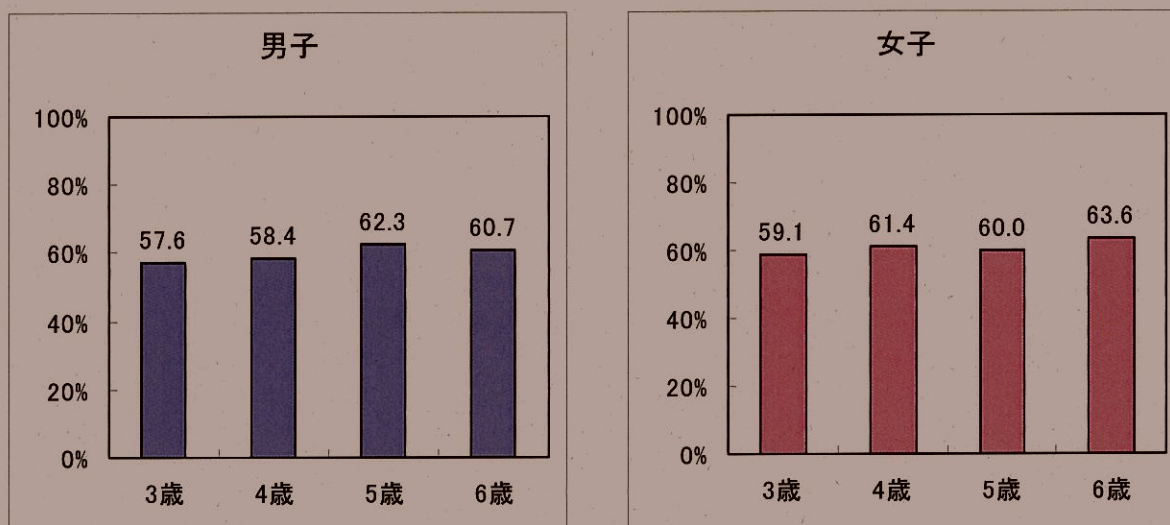


図1-1-2. テレビを見ながら食べる（年齢別）

1-1-3. 野菜をほとんど食べない（年齢別）

「野菜をほとんど食べない」者は、各年齢において男子の方が女子より多い。

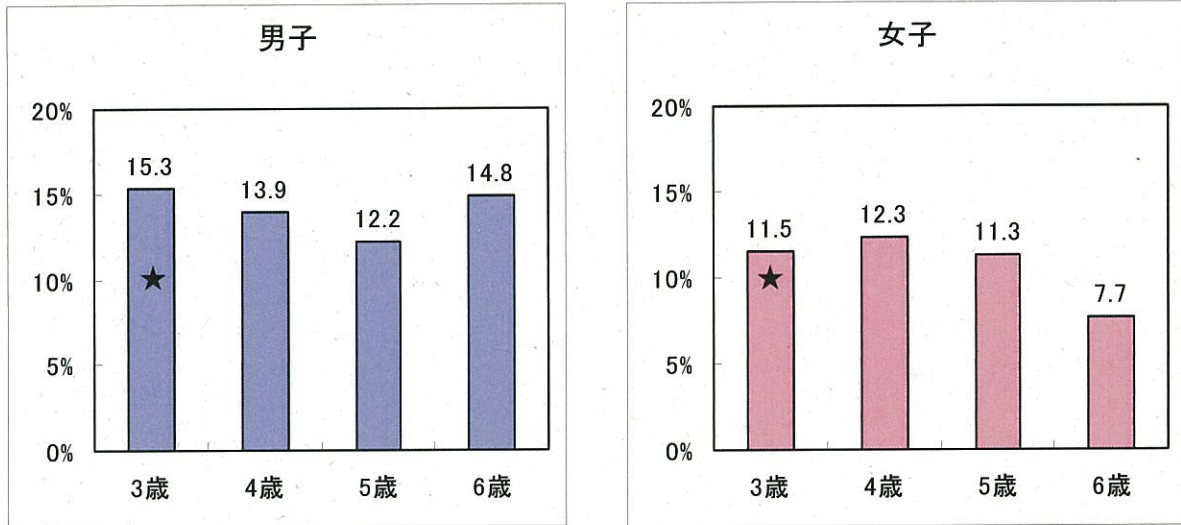


図1-1-3. 野菜をほとんど食べない（年齢別）

★福岡県健康増進計画では、「野菜をほとんど食べない幼児の割合」（3歳児）を具体的指標として、平成24年度に10%以下になることを目指しています。

1-1-4. お菓子ばかり食べて食事をしない（年齢別）

「お菓子ばかり食べて食事をしない」者は、女子では年齢があがるにつれて減少している。

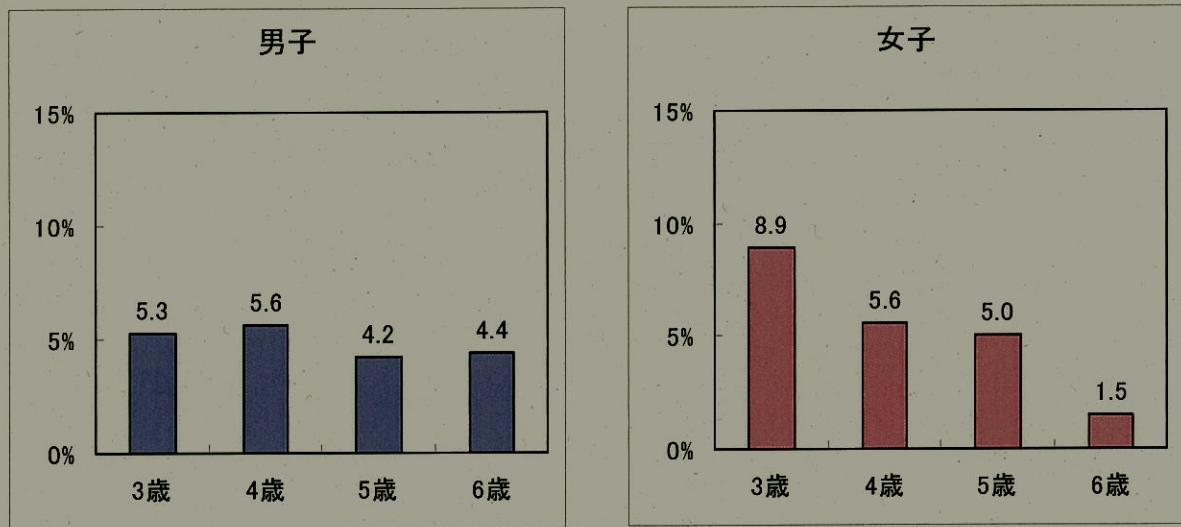


図1-1-4. お菓子を食べて食事をしない（年齢別）

1-1-5. ひじについて食べる (年齢別)

「ひじについて食べる」者は、男子の方が女子より多い。男子では、年齢が上がるにつれて増加し、5、6歳の男子では「ひじについて食べる」者が、10%程度みられる。

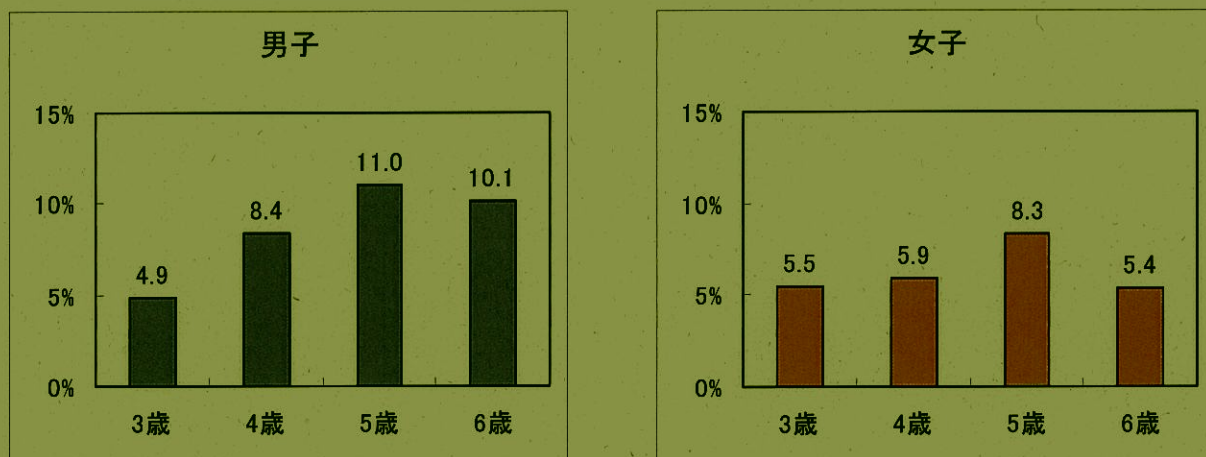


図1-1-5. ひじについて食べる (年齢別)

1-1-6. 好きなものだけ食べる (年齢別)

男女とも、「好きなものだけを食べる」者は、年齢があがるにつれて減少している。

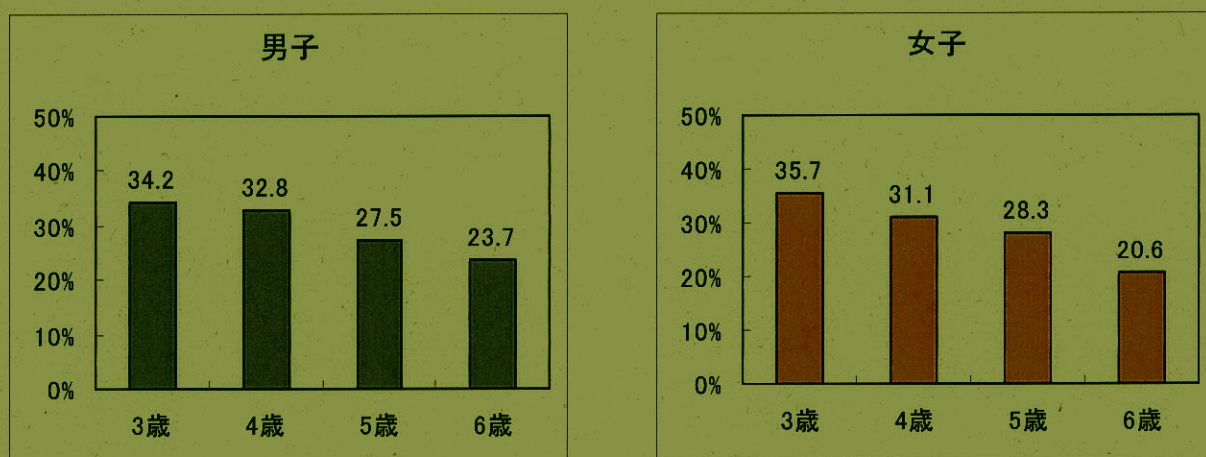


図1-1-6. 好きなものだけ食べる (年齢別)

1-1-7. かまわずに丸飲みする (年齢別)

「かまわずに丸飲みする」者は、各年齢において男子の方が女子より多い。

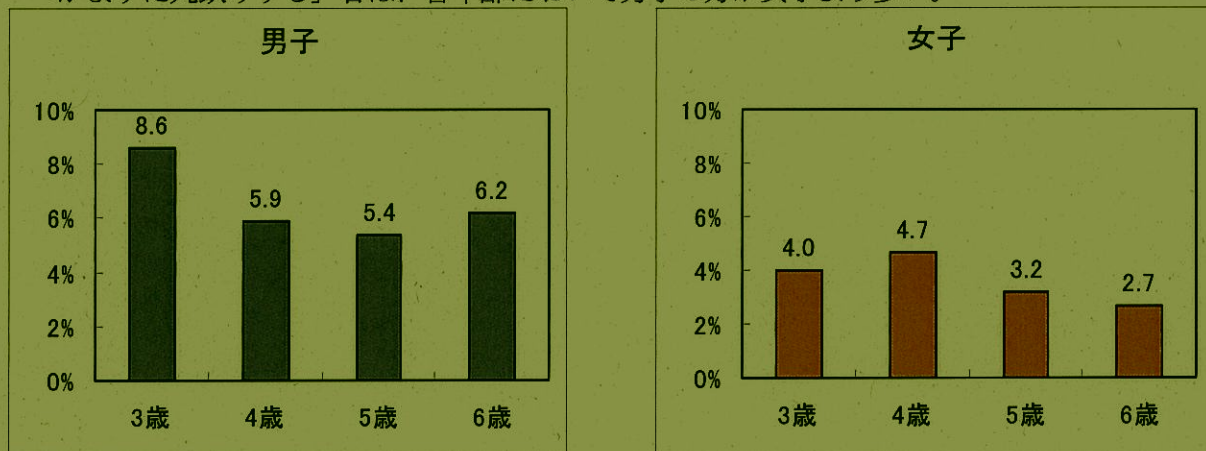


図1-1-7. かまわずに丸飲みする (年齢別)

1-1-8. ぐずぐず（だらだら）食べる（年齢別）

「ぐずぐず（だらだら）食べる」者は、女子の方が男子より多く、各年齢において「ぐずぐず（だらだら）食べる」者が、50%程度見られる。

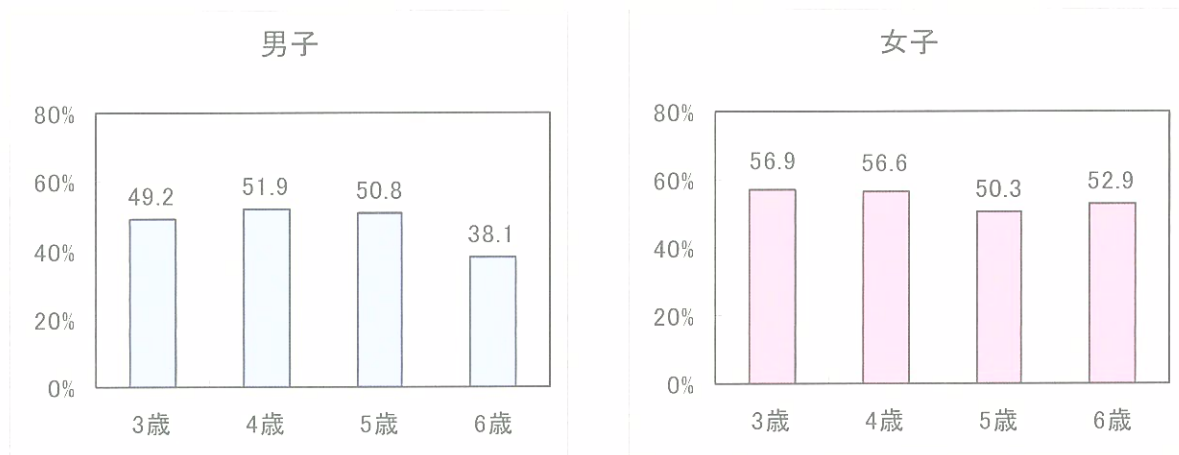


図1-1-8. ぐずぐず（だらだら）食べる（年齢別）

1-1-9. 家族とお話をしながら食べる（年齢別）

男女とも、「家族とお話をしながら食べる」者は、各年齢において90%をこえており、女子の方が男子より多い。

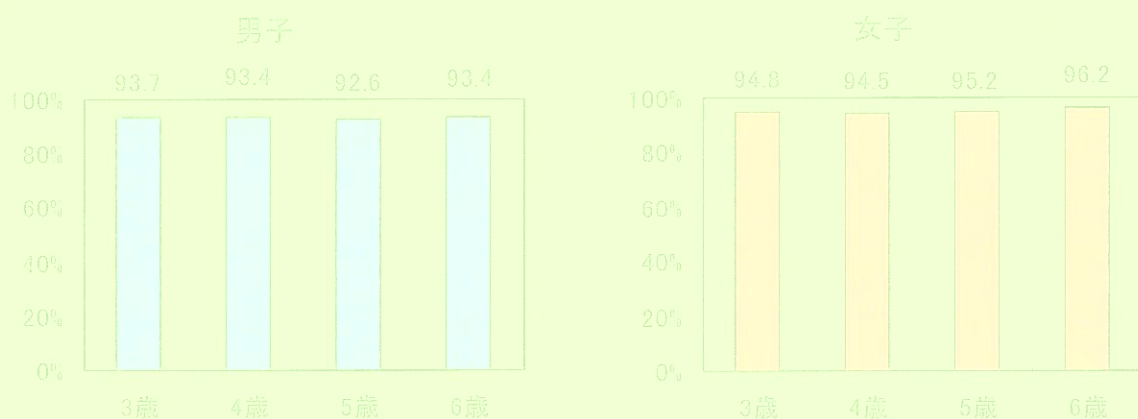


図1-1-9. 家族とお話をしながら食べる（年齢別）

1-1-10. おいしそうに食べる（年齢別）

男女とも、「おいしそうに食べる」者は、各年齢において90%をこえている。

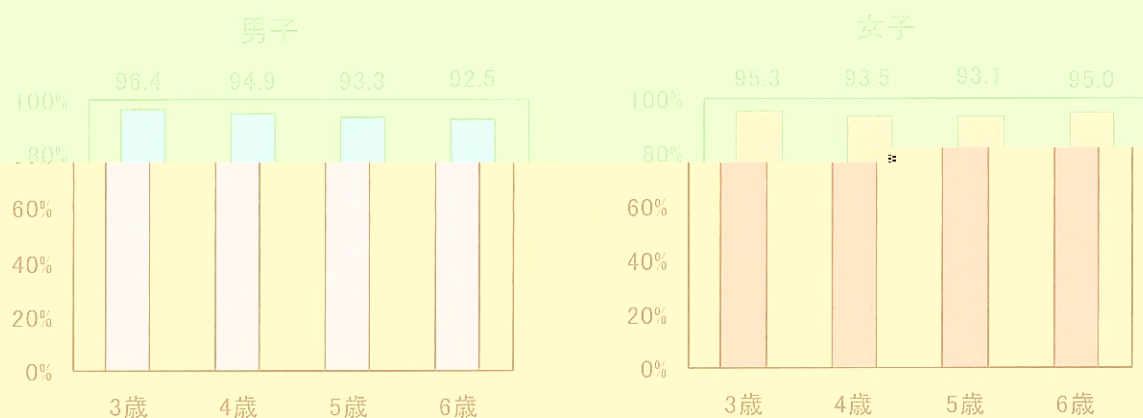


図1-1-10. おいしそうに食べる（年齢別）

1-1-11. おはしを使える（年齢別）

男女とも、「おはしを使える」者は、年齢があがるにつれて増加しており、4歳以上で90%をこえている。「おはしを使える」者は、各年齢において女子の方が男子よりやや多い。

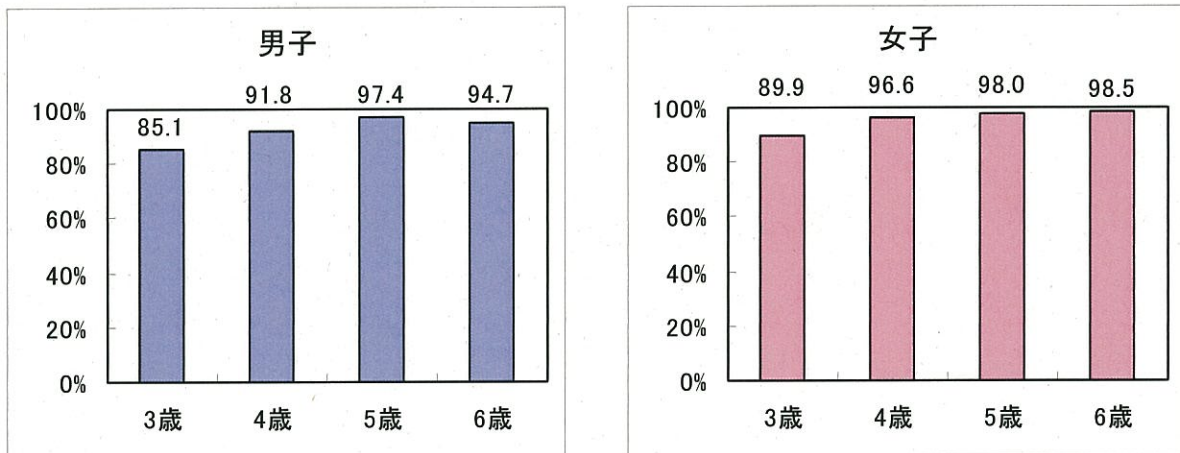


図1-1-11. おはしを使える（年齢別）

1-1-12. 食事の時にお茶ではなくジュースを飲む（年齢別）

男女とも、「食事の時にお茶ではなくジュースを飲む」者は、各年齢において5%程度である。

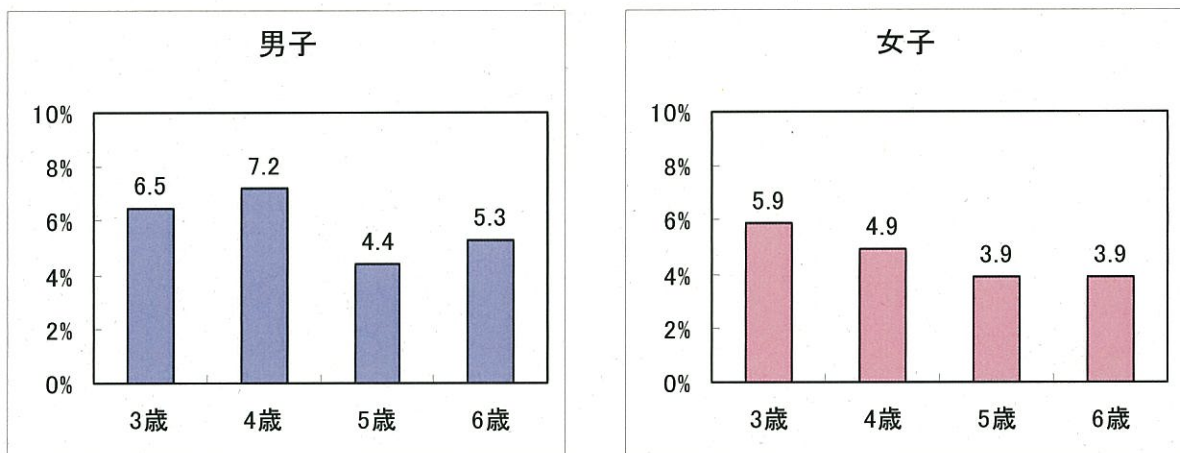


図1-1-12. 食事の時にお茶ではなくジュースを飲む（年齢別）

2 朝食の摂取状況

1-2-1. 朝食の摂取頻度

朝食を「毎日食べる」者は、男子で90.9%、女子で90.5%であり、男女とも年齢による差はない。

朝食を「毎日食べる」者は、男子で90.9%、女子で90.5%であり、「食べない」者は男女とも0.3%である。

年齢による差はみられない。

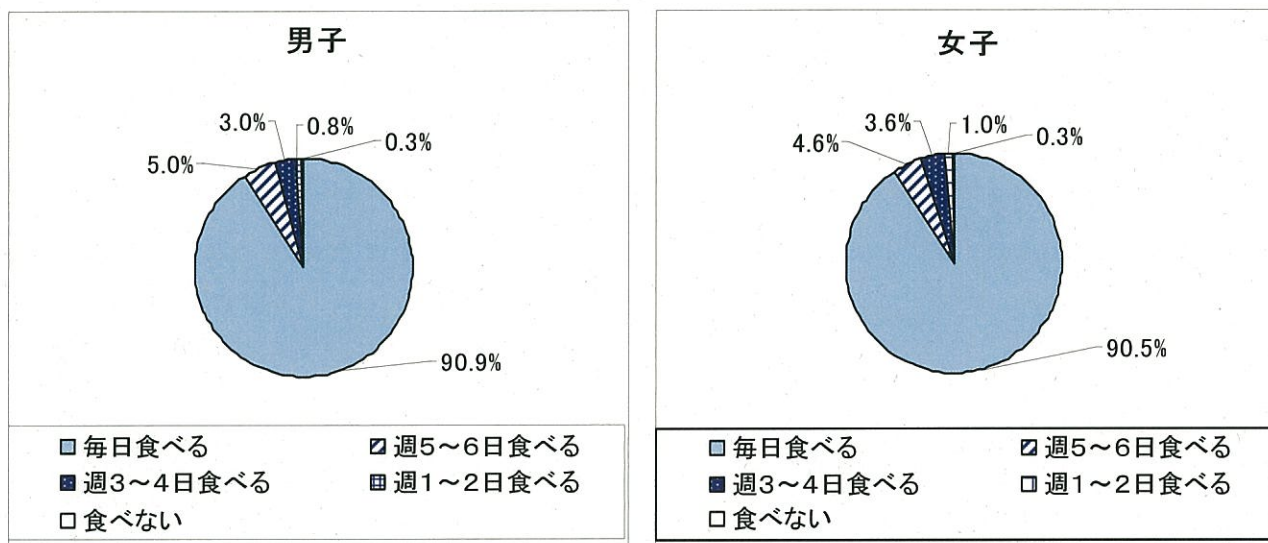


図1-2-1. 朝食の摂取頻度

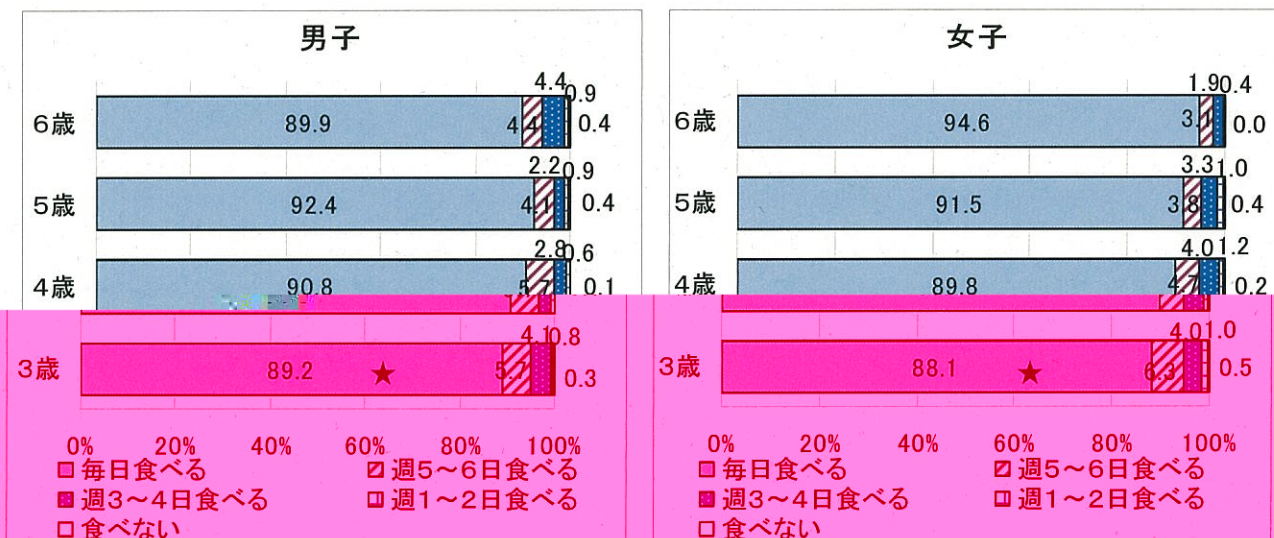


図1-2-2. 朝食の摂取頻度 (年齢別)

★ 福岡県健康増進計画では、「朝食を必ず食べている幼児の割合」(3歳児)を具体的指標として、平成24年度に100%になることを目指しています。

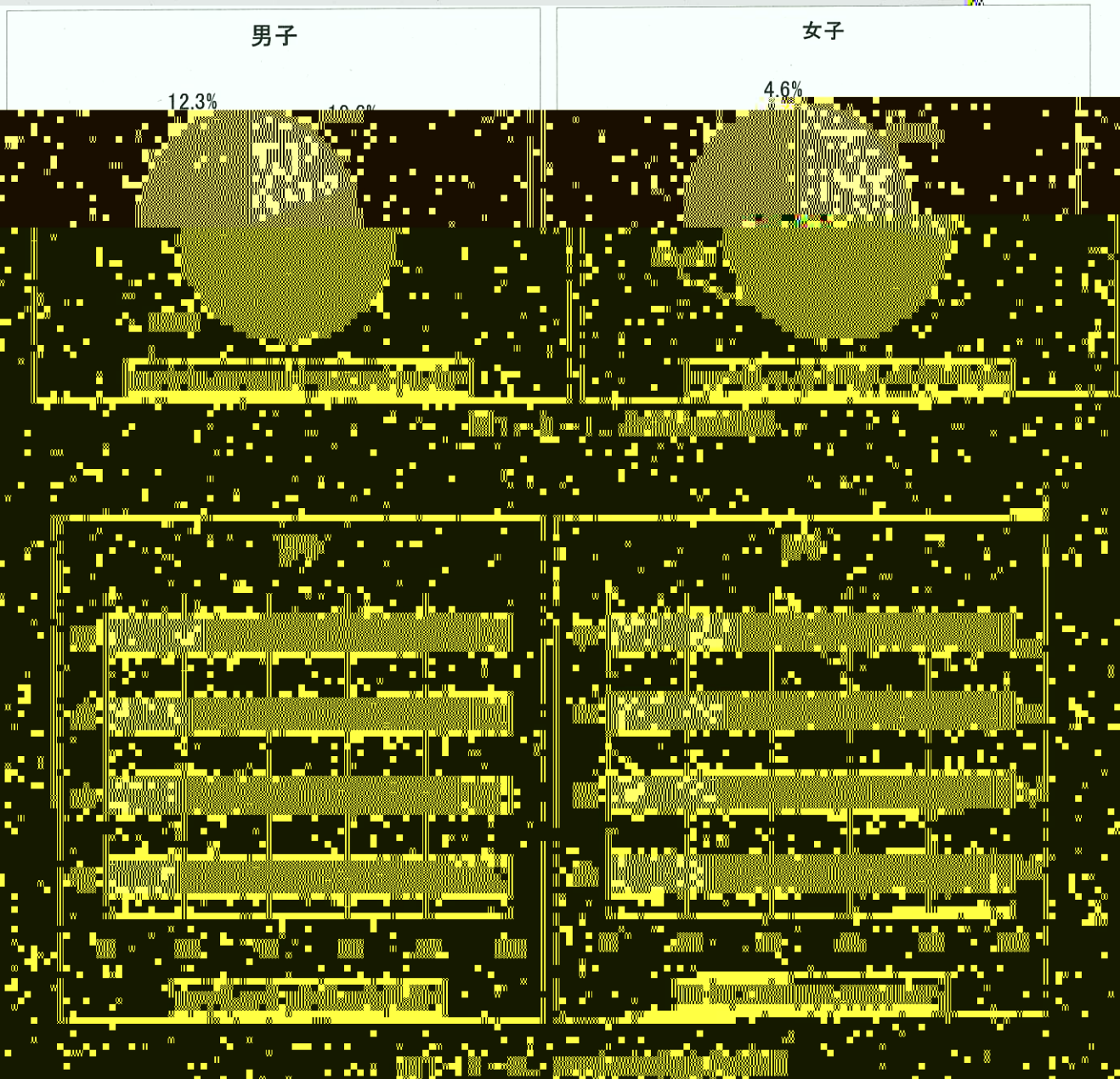
3 お手伝いの状況

1-3-1. お手伝いの頻度

お手伝いを「いつもしている」者は、男子で19.6%、女子で28.0%であり、女子の方が男子よりお手伝いをしている。

年齢があがるにつれて、お手伝いを「いつもしている」者が増加している。

お手伝いの状況については、男女間に差があり、どの年齢においても女子の方が男子よりお手伝いを「いつもしている」者が多い。また、男女とも年齢があがるにつれて、お手伝いを「いつもしている」者が増加し、6歳男子で24.9%、6歳女子で30.7%である。



4 夕食の状況

1-4-1. 夕食の状況

夕食を「家族と一緒に食べる」者は、男子で96.1%、女子で96.4%であり、男女による差はない。年齢による変化はみられない。

誰と夕食をたべているかについてみると、年齢や男女による差はみられない。「兄弟姉妹だけと一緒に食べる」者が男子で3.7%、女子で3.5%、「ひとりで食べる」者が男子で0.2%、女子で0.1%みられる。

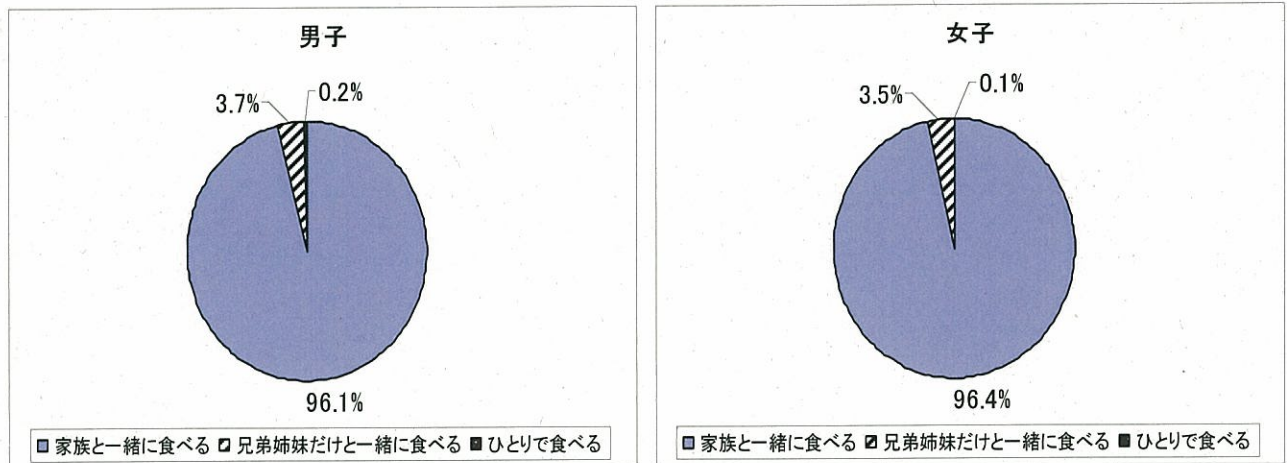


図1-4-1. 夕食を誰と食べるか

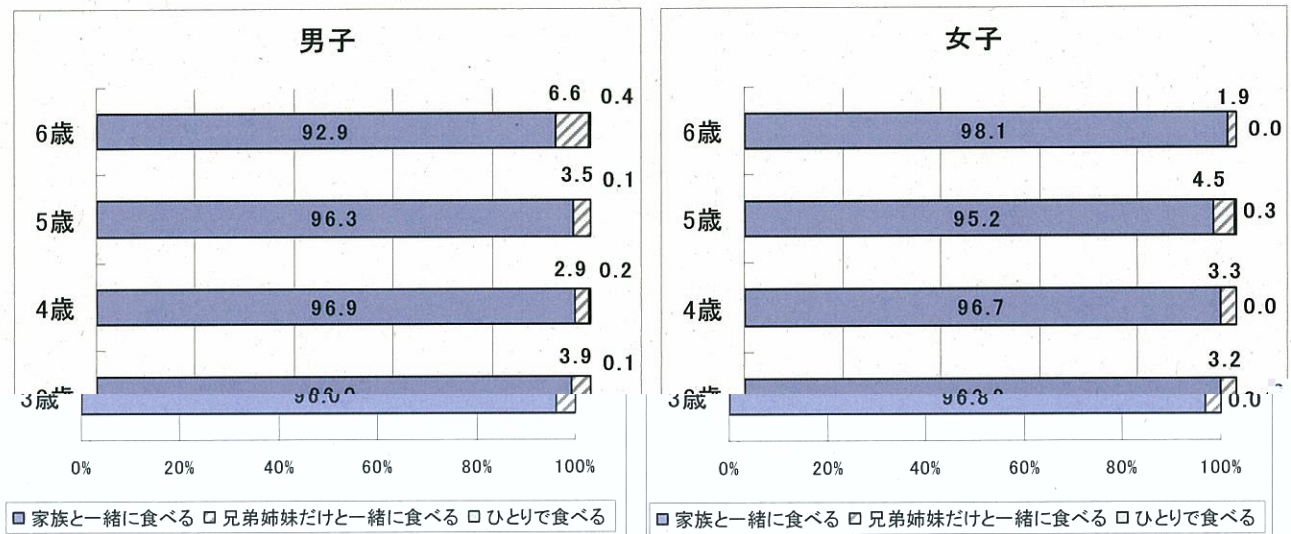


図1-4-2. 夕食を誰と食べるか (年齢別)

5 睡眠の状況

1-5-1. 睡眠の状況

睡眠を「十分とっている」者は、男子で67.4%、女子で68.3%であり、年齢による変化はみられない。

睡眠の状況

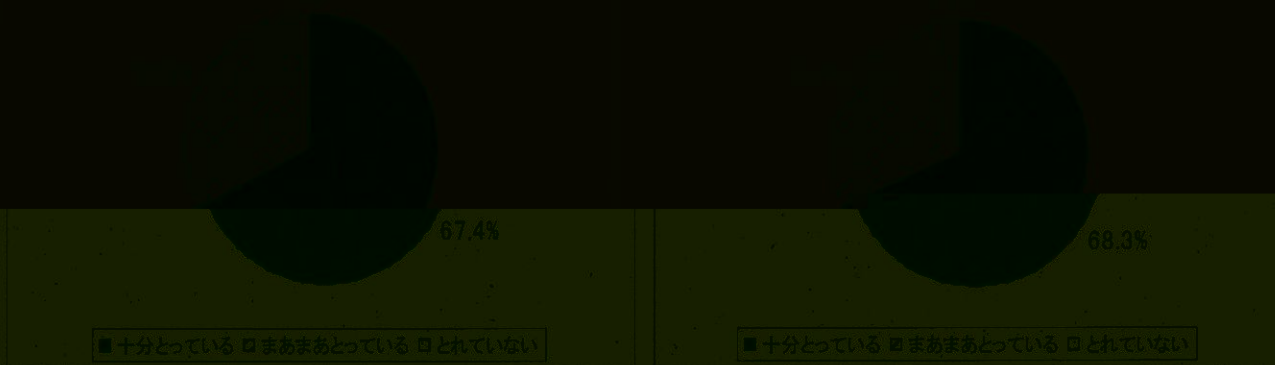


図1-5-1 睡眠の状況

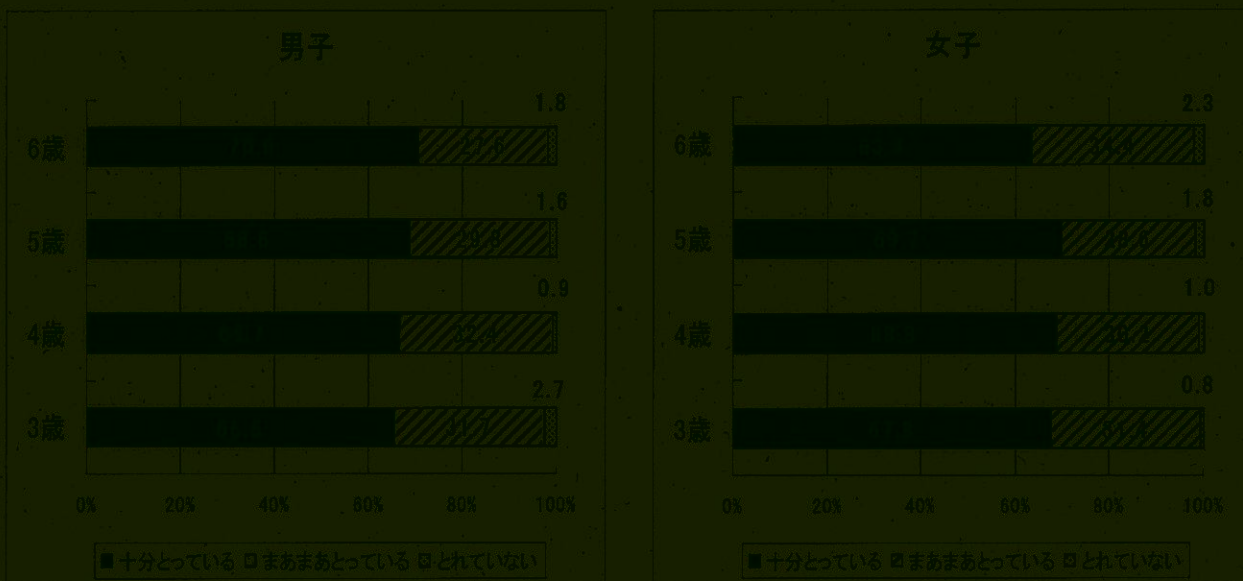


図1-5-2. 睡眠の状況 (年齢別)

第2章 朝食の摂取頻度との関連

1 朝食の摂取頻度と食事の様子

朝食の摂取頻度が少なくなるにつれて「ぐずぐず（だらだら）食べる」、「テレビを見ながら食事をする」、「野菜をほとんど食べない」、「お菓子ばかりを食べて食事を食べない」、「好きなものだけを食べる」者が増加し、「家族とお話をしながら食べる」者が女子で減少している。

2-1-1. 大人が手伝わずに毎食自分で食べる

「大人が手伝わずに毎食自分で食べる」者は、朝食の摂取頻度に関わらずおよそ7割～8割程度みられる。

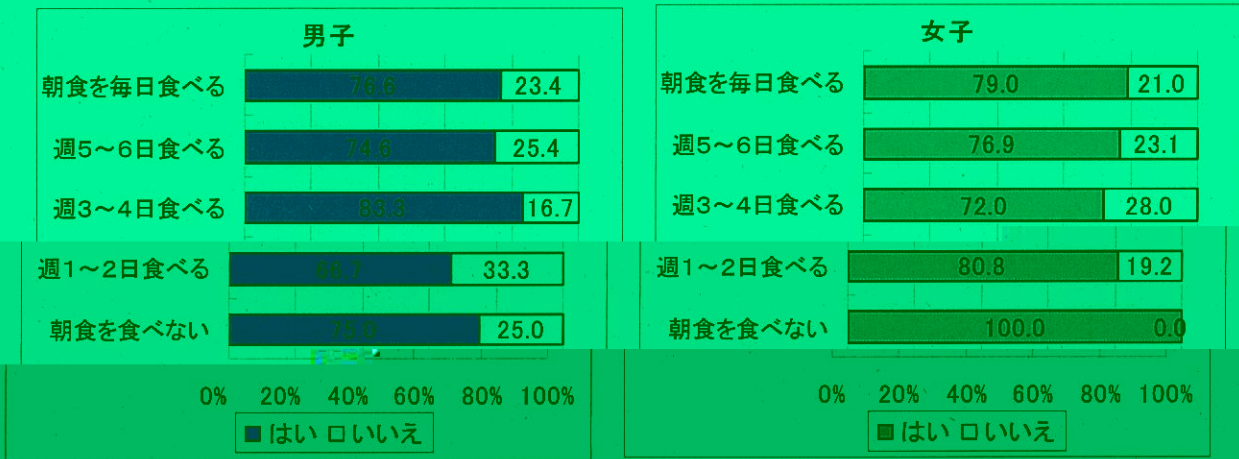
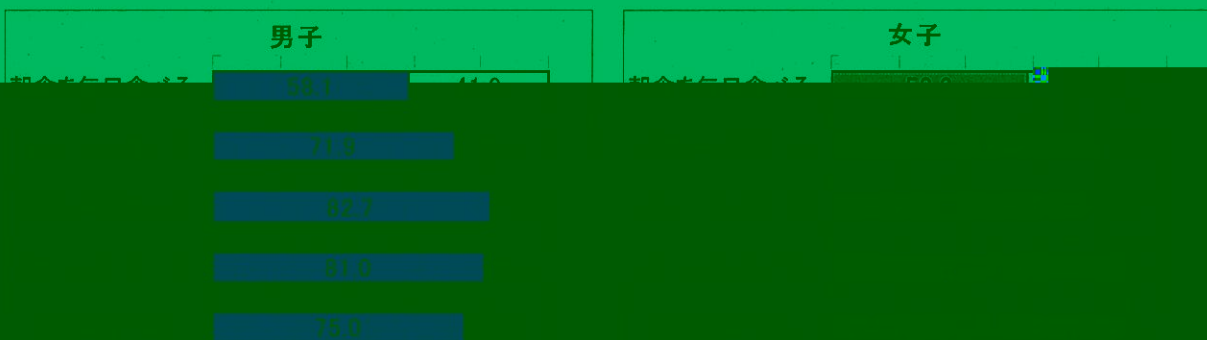


図2-1-1. 大人が手伝わずに毎食自分で食べる

2-1-2. テレビを見ながら食べる

男女とも、「朝食を毎日食べる」者は、「テレビを見ながら食事をする」者の割合が少ない。



2-1-3. 野菜をほとんど食べない

男女とも、「野菜をほとんど食べない」者は「朝食を食べない」者に多く、「朝食を毎日食べる」者には少ない。

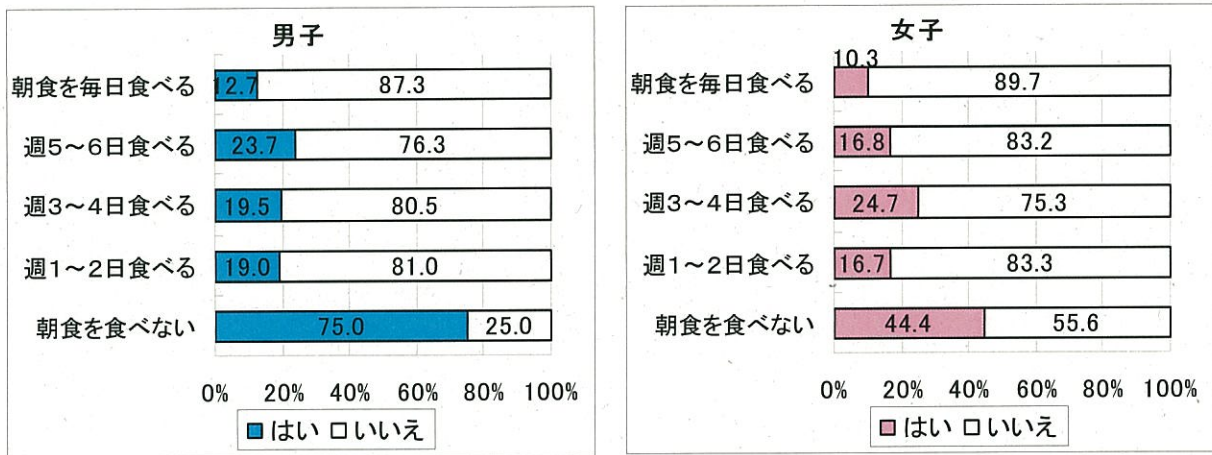


図2-1-3. 野菜をほとんど食べない

2-1-4. お菓子ばかりを食べて食事を食べない

男女とも、「お菓子ばかりを食べて食事を食べない」者は「朝食を食べない」者に多く、「朝食を毎日食べる」者には少ない。

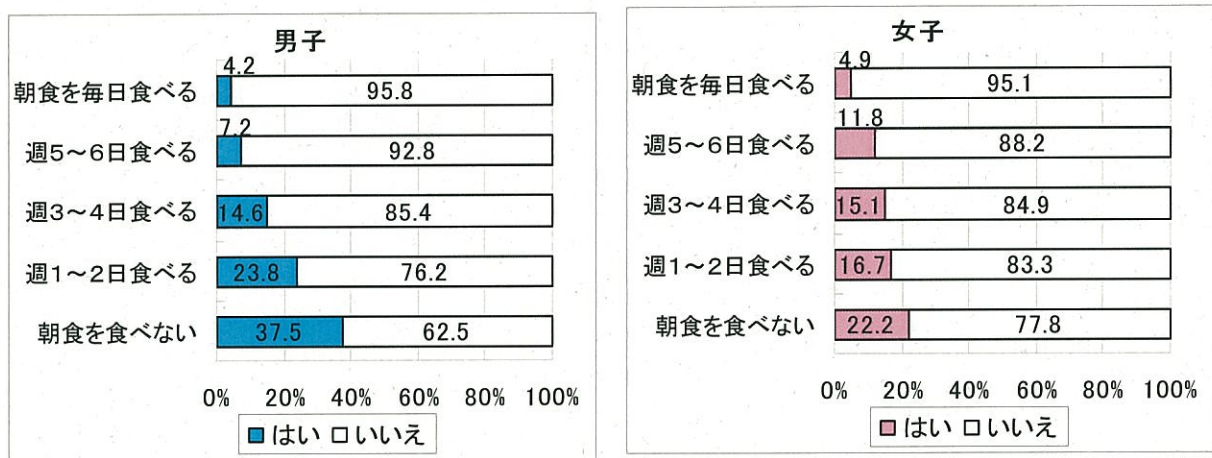


図2-1-4. お菓子を食べて食事をしない

2-1-5. ひじについて食べる

「ひじについて食べる」者と朝食の摂取頻度との関係はみられない。

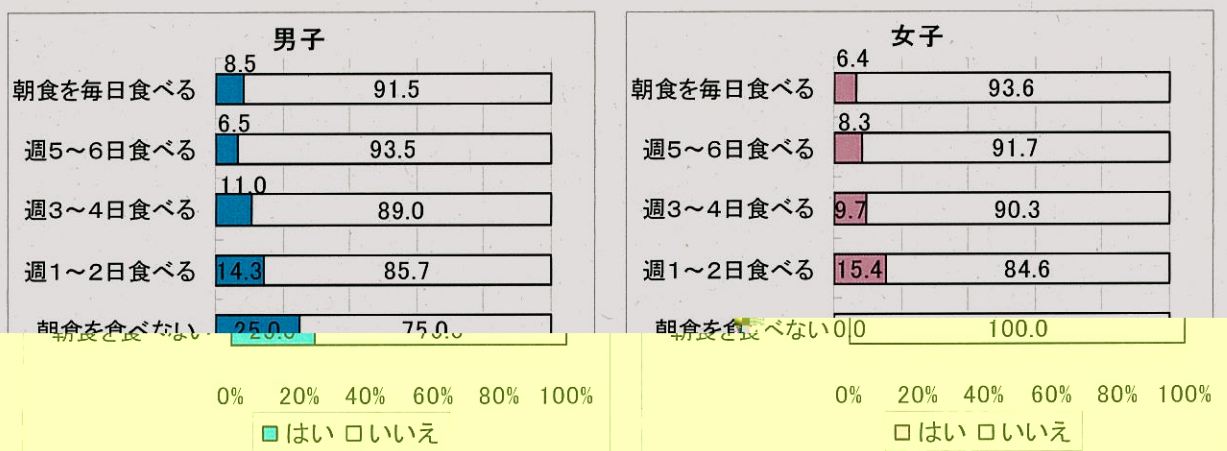


図2-1-5. ひじについて食べる

2-1-6. 好きなものだけを食べる

男女とも、「好きなものだけを食べる」者は「朝食を食べない」者に多く、「朝食を毎日食べる」者に少ない。

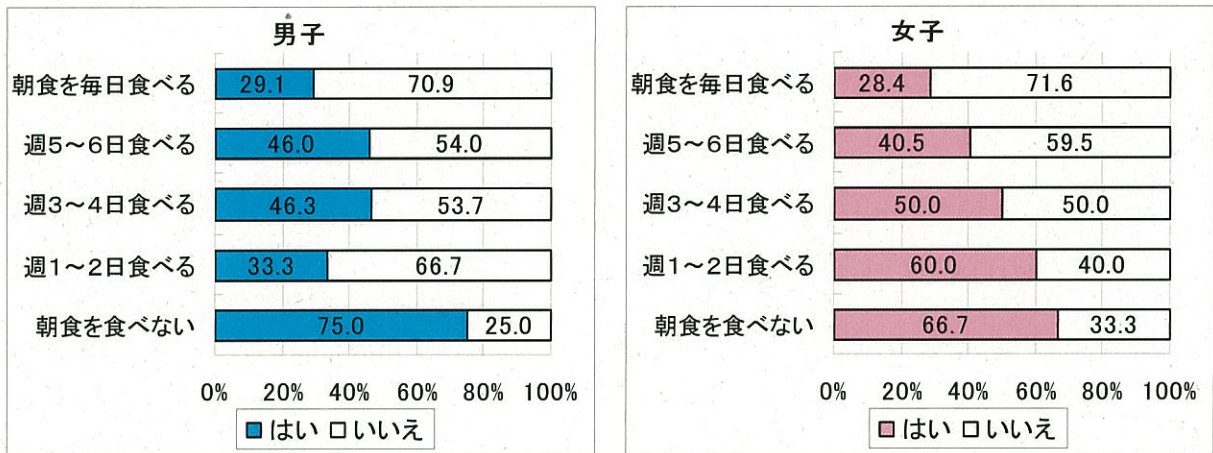


図2-1-6. 好きなものだけ食べる

2-1-7. かまわずに丸飲みする

「かまわずに丸飲みする」ことと、朝食の摂取頻度との関係はみられない。

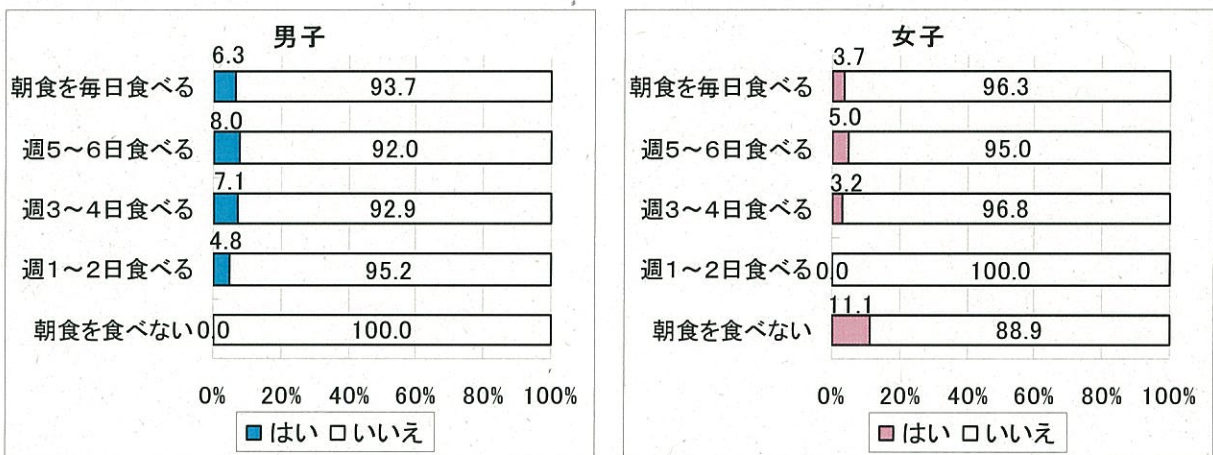


図2-1-7. かまわずに丸飲みする

2-1-8. ぐずぐず(だらだら)食べる

男女とも、「ぐずぐず(だらだら)食べる」者は、朝食の摂取頻度が少なくなるにつれて増加している。

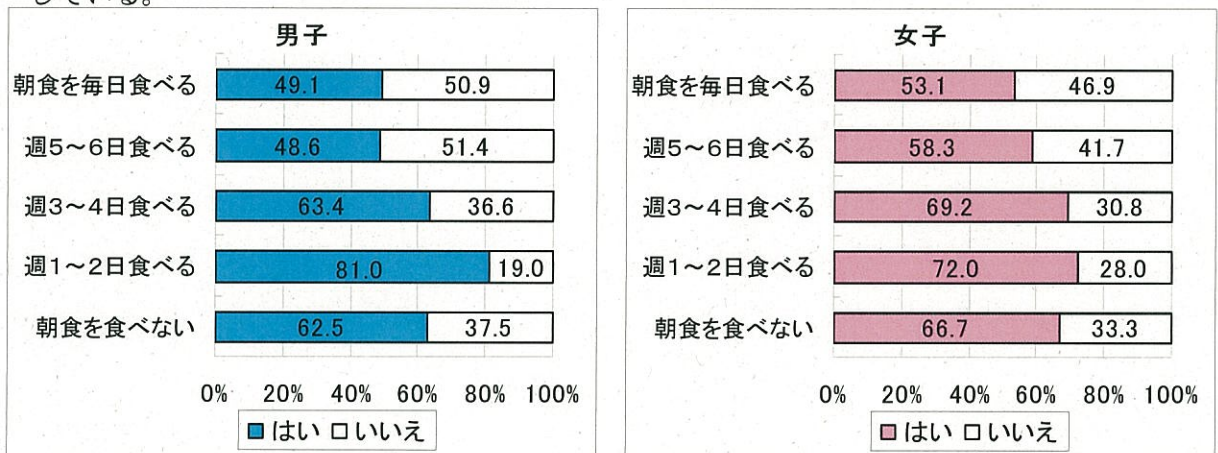


図2-1-8. ぐずぐず(だらだら)食べる

2-1-9. 家族とお話をしながら食べる

女子では、「家族とお話をしながら食べる」者は、朝食の摂取頻度が少なくなるにつれて減少しているが、男子には関連がみられない。

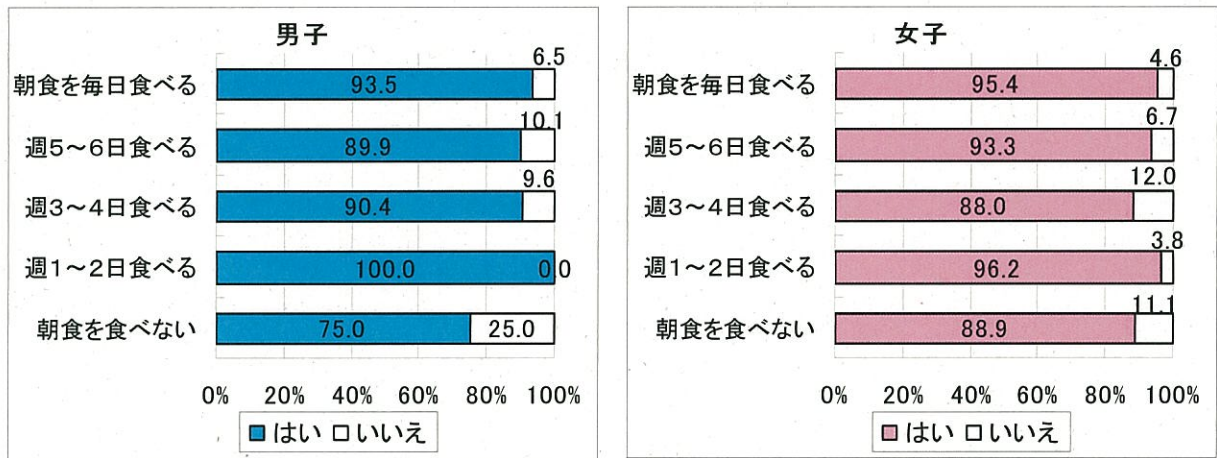


図2-1-9. 家族とお話をしながら食べる

2-1-10. おいしそうに食べる

「おいしそうに食べる」ことと、朝食の摂取頻度との間には関連はみられない。

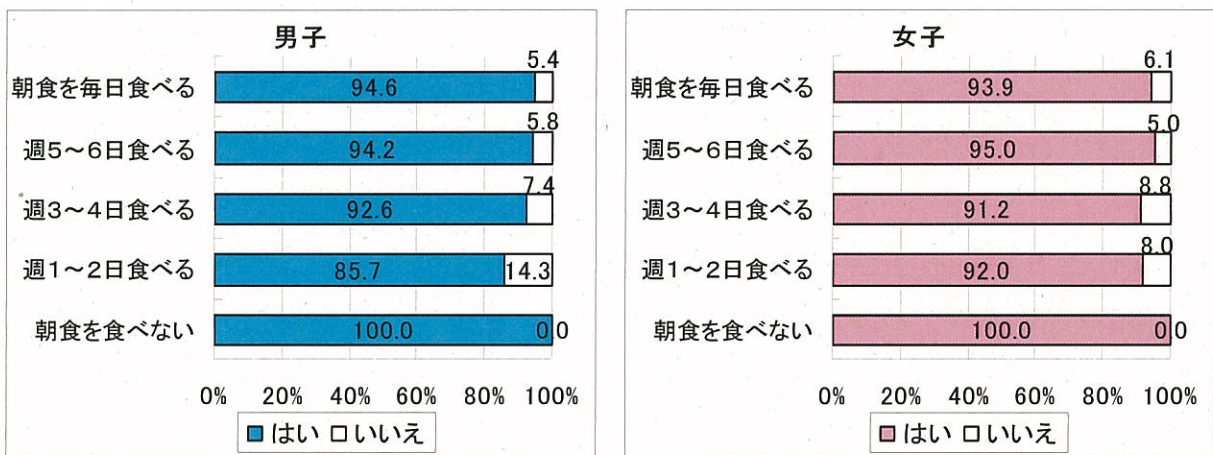


図2-1-10. おいしそうに食べる

2-1-11. おはしを使える

「おはしを使える」ことと、朝食の摂取頻度との間には関連はみられない。

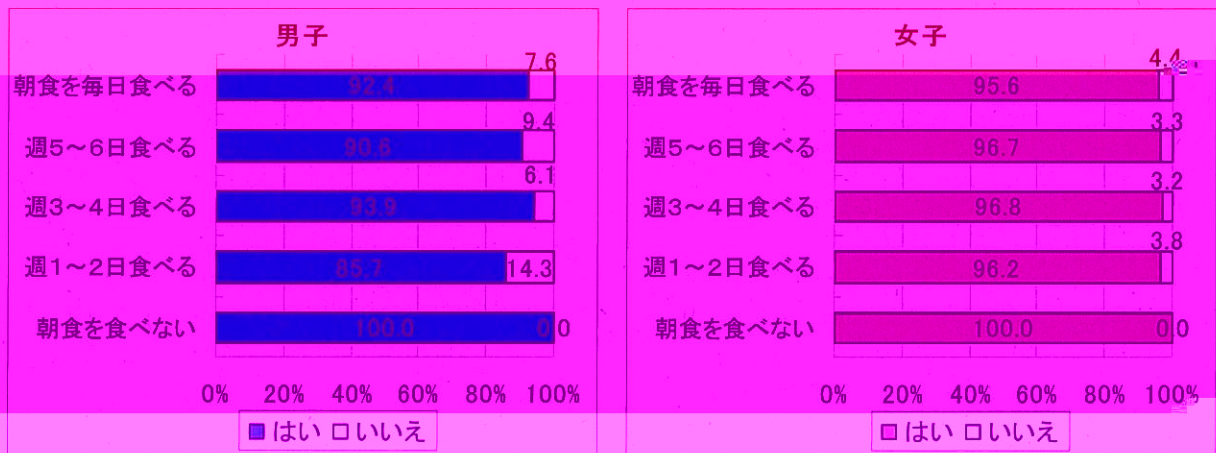


図2-1-11. おはしを使える

2-1-12. 食事の時にお茶ではなくジュースを飲む

「食事の時にお茶ではなくジュースを飲む」者は、男子では「朝食を毎日食べる」者が最も少なく、女子では朝食の摂取頻度との間に関連はみられない。

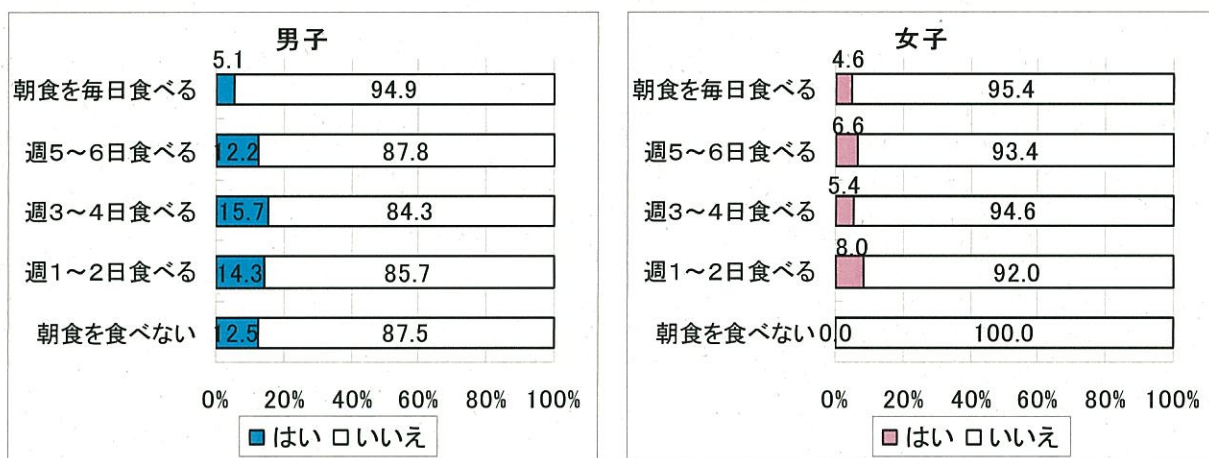


図2-1-12. 食事の時にお茶ではなくジュースを飲む

2

朝食の摂取頻度と食事づくりのお手伝いとの関連

「食事づくりのお手伝いする」と朝食の摂取頻度との間には関連はみられない。

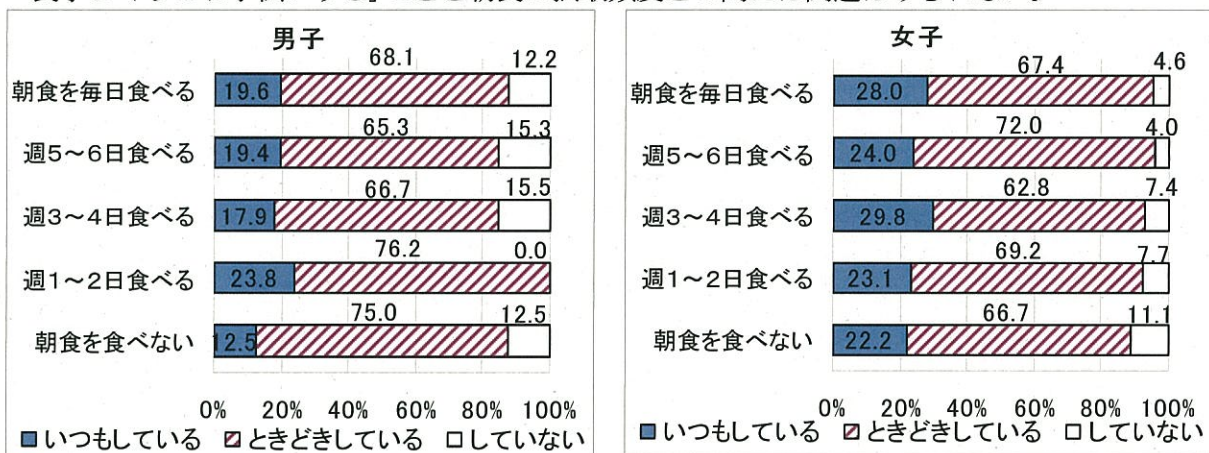


図2-2. 朝食の摂取頻度と食事づくりのお手伝いとの関連

3

朝食の摂取頻度と睡眠との関連

男女とも、「朝食を毎日食べる」者は、「十分な睡眠をとっている」者の割合が多い。

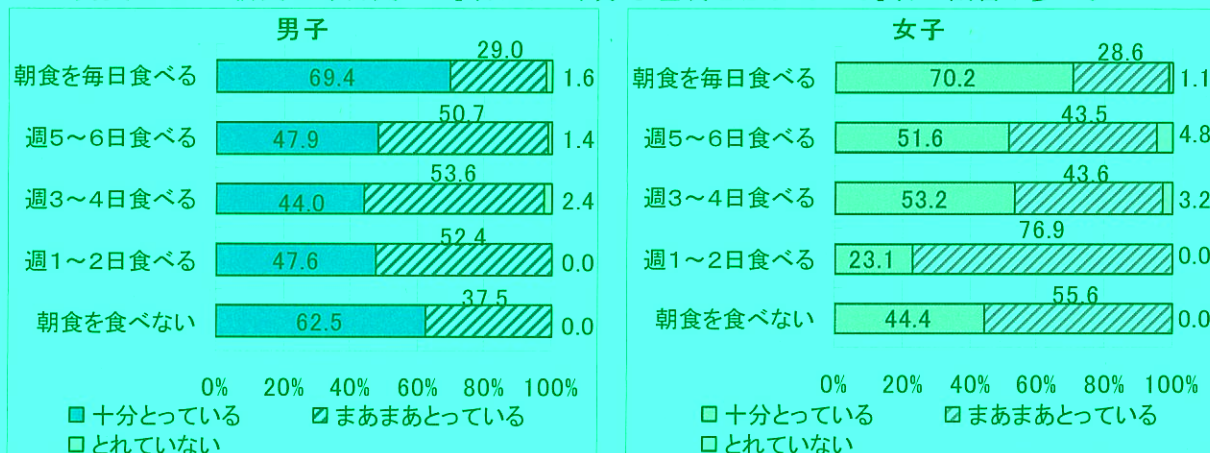


図2-3. 朝食の摂取頻度と睡眠との関連

第3章 体型との関連

1 体型分布

各年齢、男女とも肥満度が普通群（-15%~15%未満）にある者の割合は90%以上であった。

各年齢の男女別肥満度により、-15%未満の者をやせ群、-15%~15%未満の者を普通群、15%以上の者を肥満群と分類した。

各年齢、男女とも肥満度が普通群（-15%~15%未満）にある者の割合は90%以上であった。

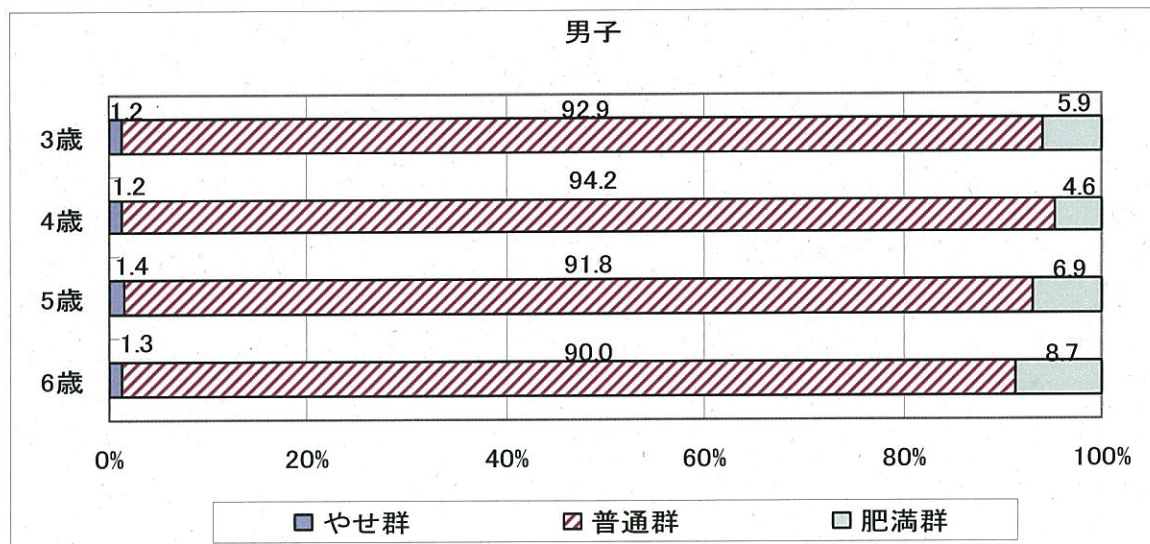


図3-1-1. 体型分布 (男子)

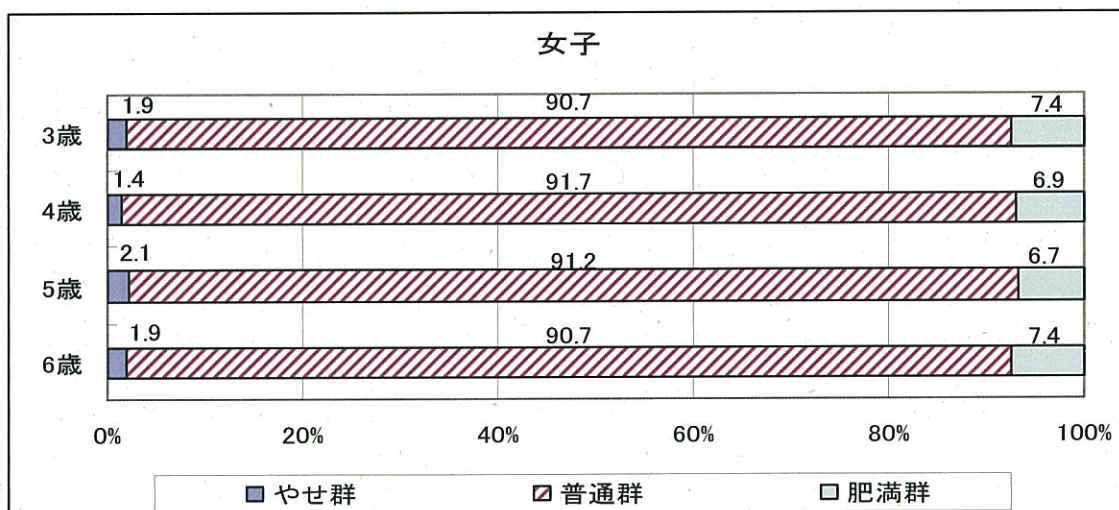


図3-1-2. 体型分布 (女子)

2 体型と食事の様子

男子では、やせ群に「野菜をほとんど食べない」「お菓子ばかり食べて食事をしない」「ぐずぐず（だらだら）食べる」割合が多く、肥満群に「かまわずに丸のみする」割合が多い。

3-2-1. 大人が手伝わずに毎食自分で食べる（体型別）

男子は、やせ群から普通群、肥満群へと体型が大きくなるにつれ、「大人が手伝わずに毎食自分で食べる」者の割合が多くなる。

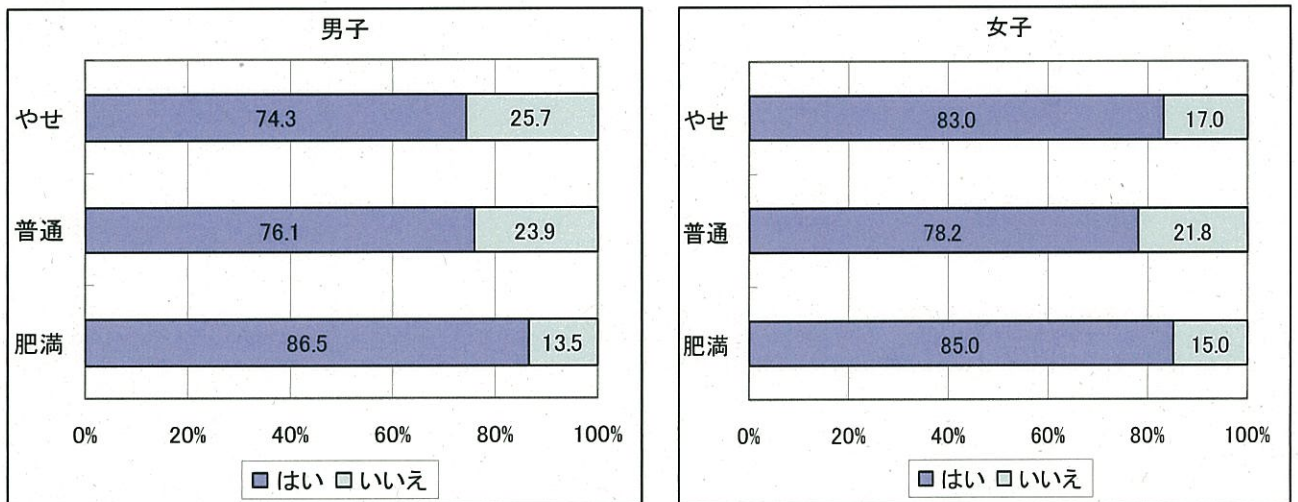


図3-2-1. 大人が手伝わずに毎食自分で食べる（体型別）

3-2-2. テレビを見ながら食べる（体型別）

男女とも普通群は他の2群に比べ「テレビを見ながら食べる」者の割合が少い。

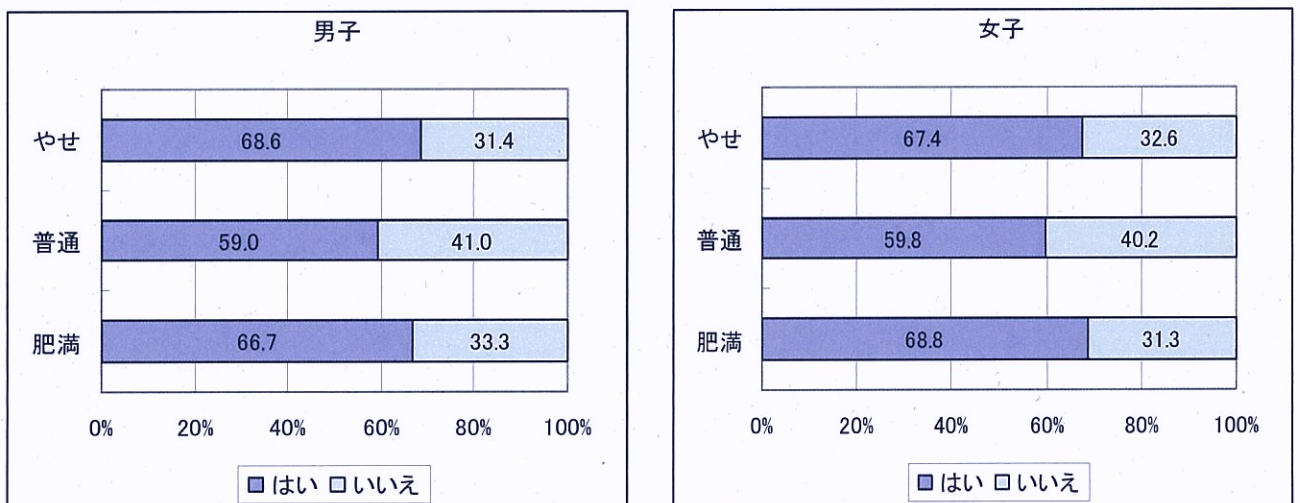


図3-2-2. テレビを見ながら食べる（体型別）

3-2-3. 野菜をほとんど食べない（体型別）

男子は、他の2群に比べ、やせ群に「野菜をほとんど食べない」者の割合が多い。

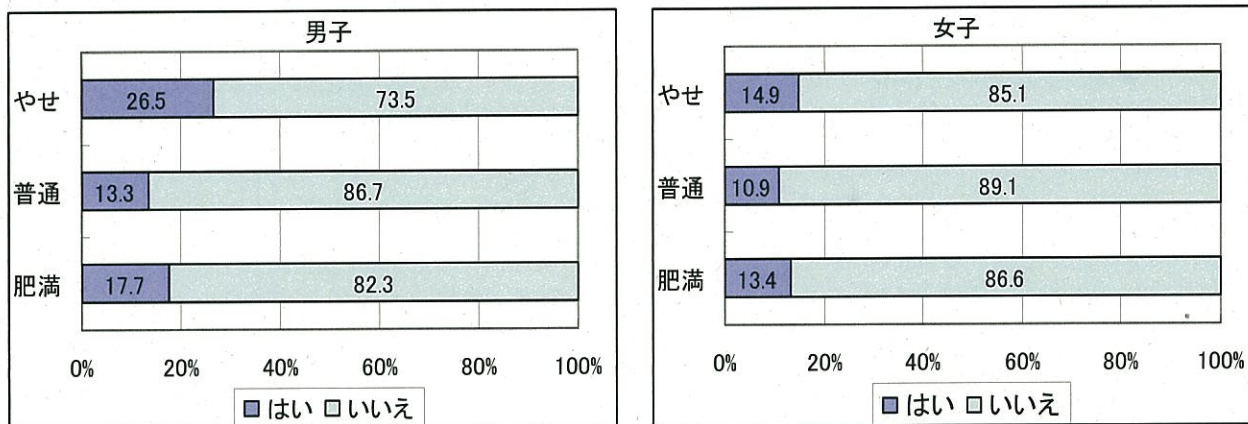


図3-2-3. 野菜はほとんど食べない（体型別）

3-2-4. お菓子ばかり食べて食事をしない（体型別）

男子では、他の2群に比べやせ群に「お菓子ばかり食べて食事をしない」者の割合が多い。

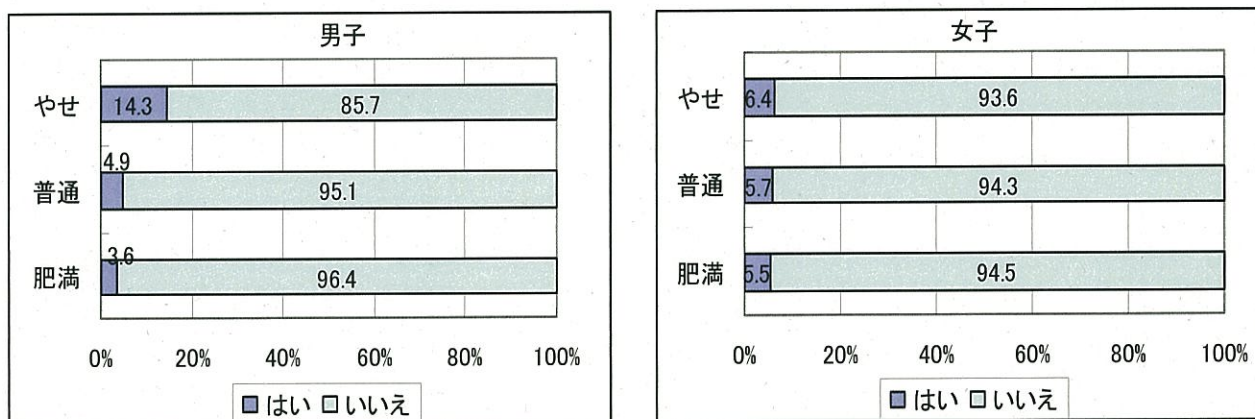


図3-2-4. お菓子ばかり食べて食事をしない（体型別）

3-2-5. ひじについて食べる（体型別）

女子は、やせ群から普通群、肥満群へと体型が大きくなるにつれて、「ひじについて食べる」者の割合が多くなる。

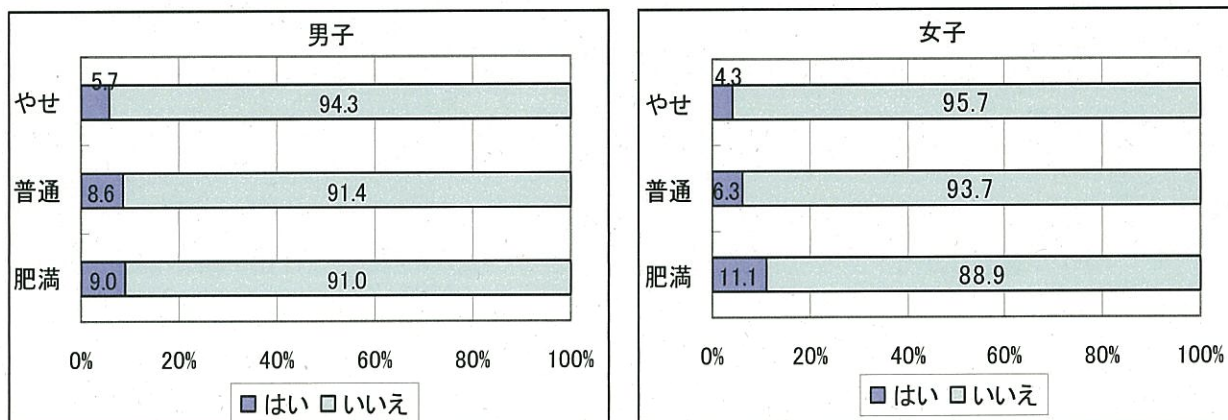


図3-2-5. ひじについて食べる（体型別）

3-2-6. 好きなものだけを食べる (体型別)

男子のやせ群は、「好きなものだけを食べる」者の割合が他に比べて多い傾向にある。

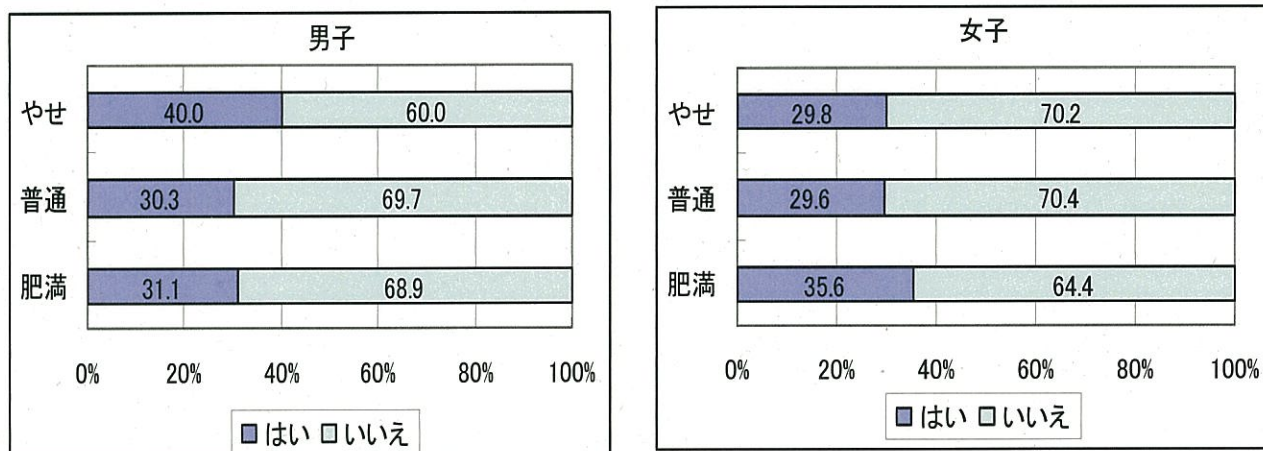


図 3-2-6. 好きなものだけを食べる (体型別)

3-2-7. かまずに丸飲みする (体型別)

男女とも他の2群に比べ、肥満群に「かまずに丸飲みする」者の割合が多い。

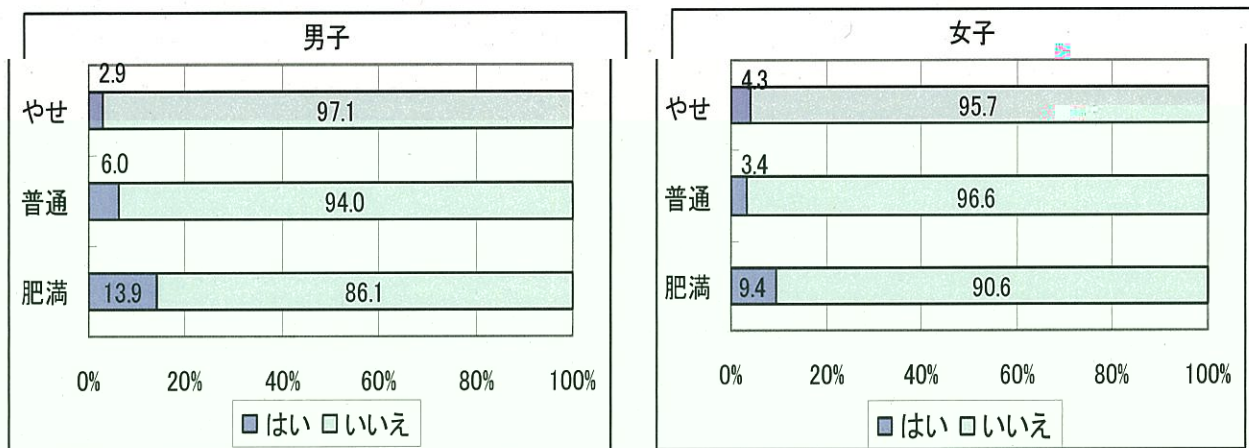


図 3-2-7. かまずに丸飲みする (体型別)

3-2-8. ぐずぐず (だらだら) 食べる (体型別)

男女とも他の2群に比べ、やせ群に「ぐずぐず (だらだら) 食べる」者の割合が多い。

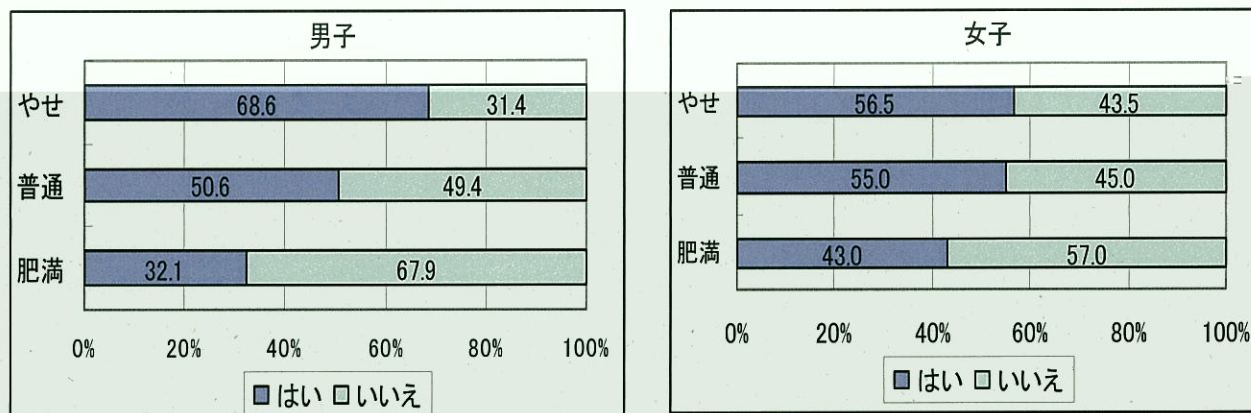


図 3-2-8. ぐずぐず (だらだら) 食べる (体型別)

3-2-9. 家族とお話をしながら食べる（体型別）

体型と家族と話をしながら食べることには関連はない。

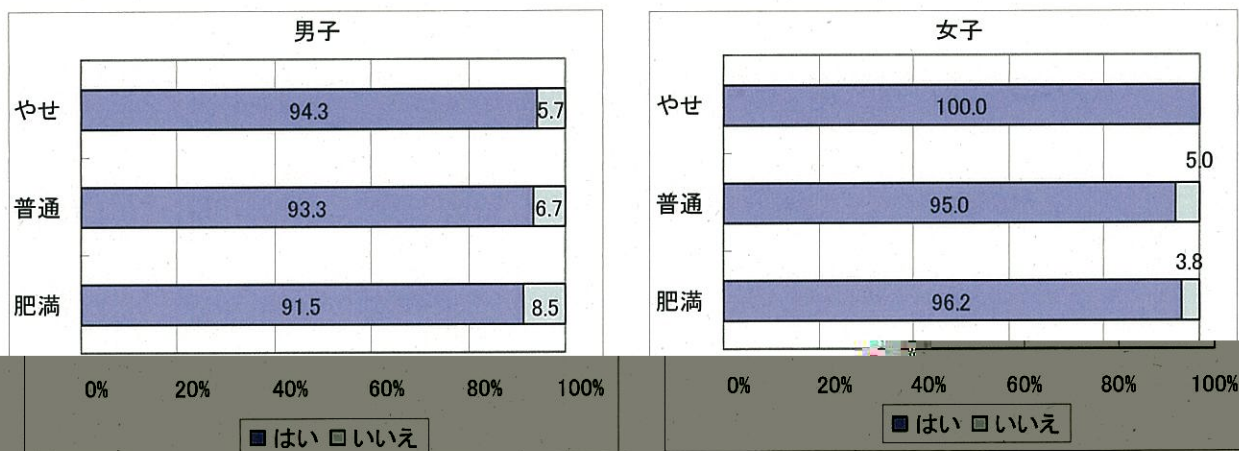


図3-2-9. 家族とお話をしながら食べる（体型別）

3-2-10. おいしそうに食べる（体型別）

男子では、他の2群に比べやせ群に「おいしそうに食べる」者の割合が少ない傾向にある。

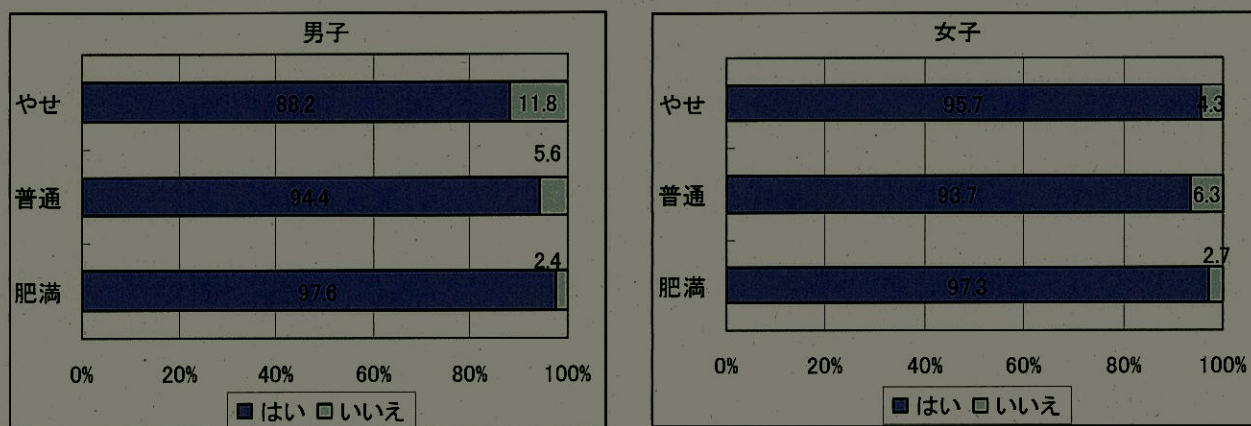


図3-2-10. おいしそうに食べる（体型別）

3-2-11. おはしを使って食べる（体型別）

男女とも体型にかかわらず約9割の者がおはしを使って食べている。

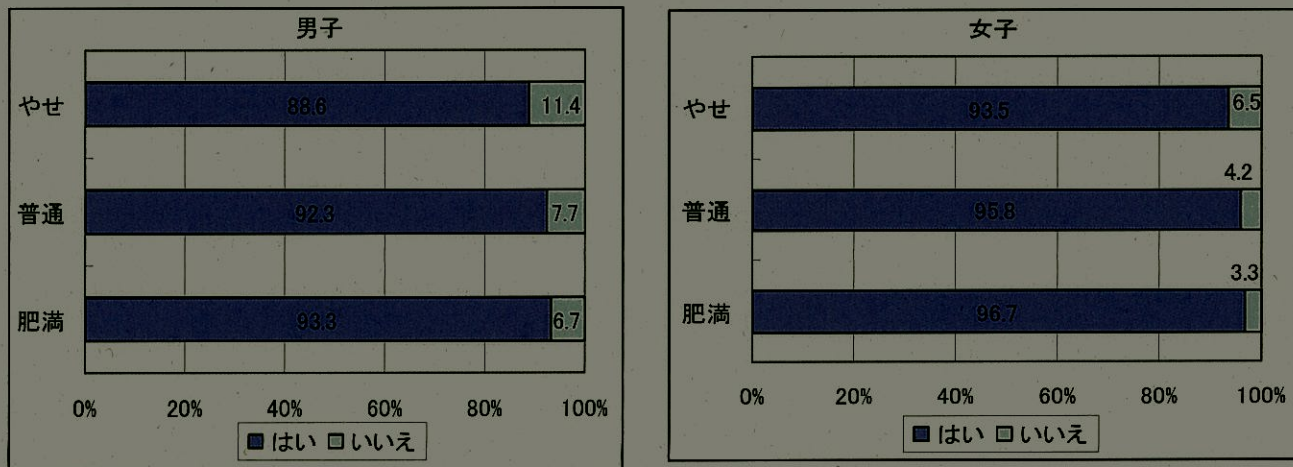


図3-2-11. おはしを使って食べる（体型別）

3-2-12. 食事の時に茶ではなく、ジュースを飲む（体型別）

男女とも肥満群から普通群、やせ群へと体型が小さくなるに従って「食事の時に茶ではなくジュースを飲む」者の割合が多い傾向にある。

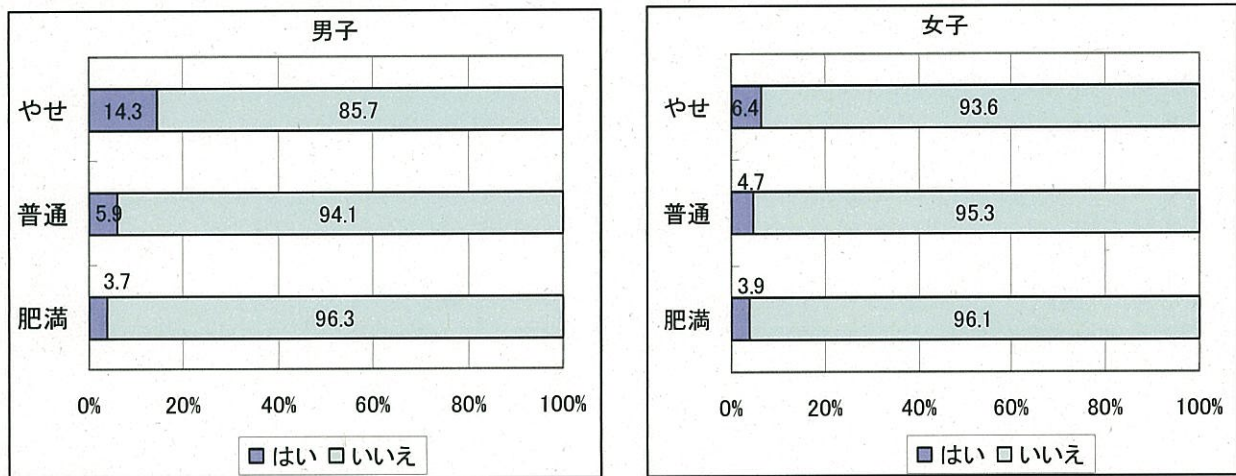


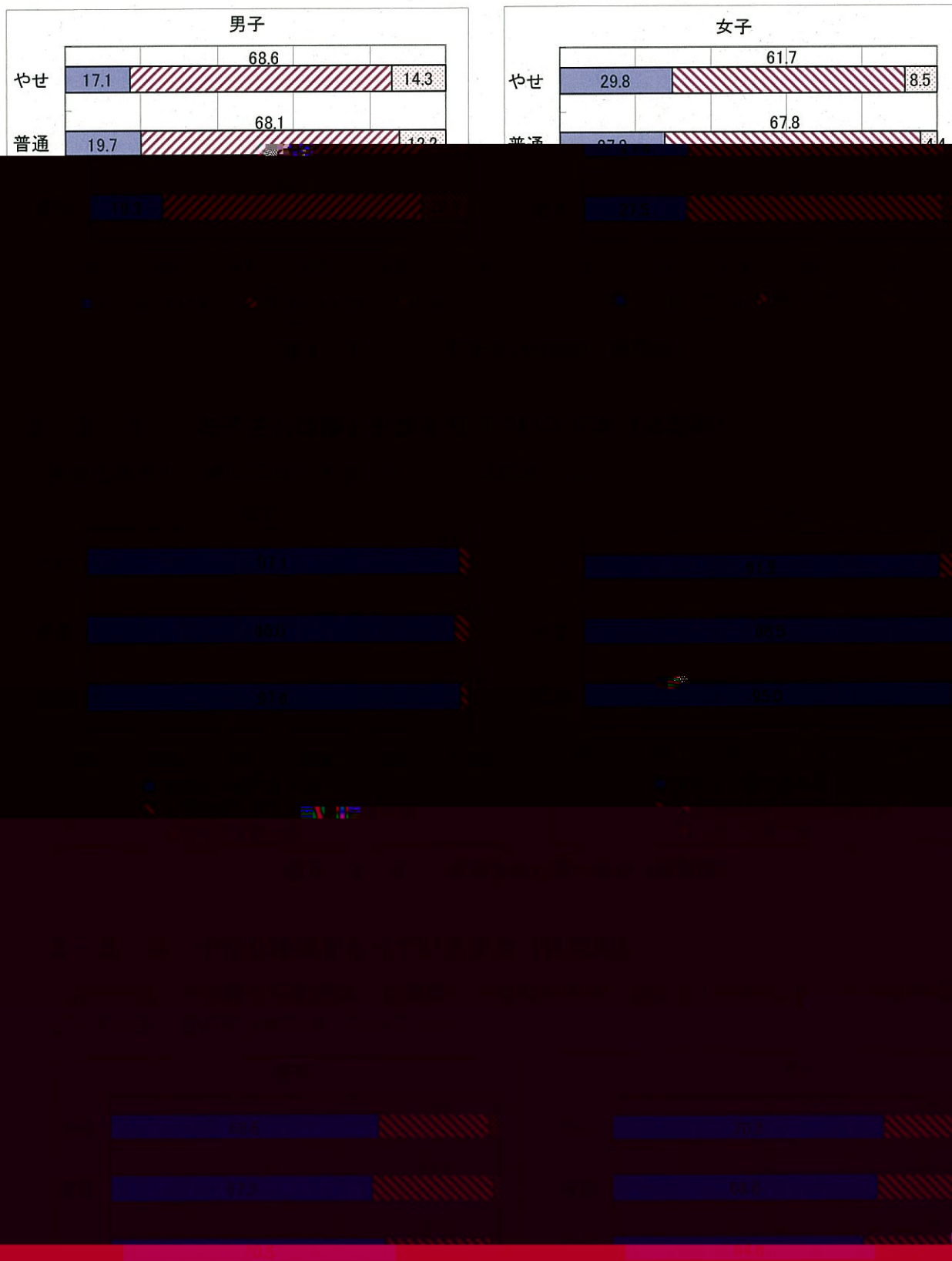
図3-2-12. 食事の時に茶ではなくジュースを飲む（体型別）

3 体型と食習慣・生活習慣

体型と朝食習慣、夕食習慣、睡眠との関係を関連は認められなかったが、

3-3-2. 食事づくりのお手伝いをしますか（体型別）

体型と食事づくりのお手伝いの有無には、関連がない。



第4章 前回調査との比較

食事の場面でみられる食行動では、「テレビを見ながら食べる」者、「野菜をほとんど食べない」者、「お菓子ばかり食べる」者、「好きな者ばかり食べる」者が減少している。

朝食を「毎日食べている」者、お手伝いを「いつもしている」者、睡眠を「十分とっている」者は増加している。

子どもの食習慣や生活習慣については、改善がみられる。

性・年齢別被調査者数

(人)

		年齢				合計
		3歳	4歳	5歳	6歳	
H10	男	408	891	869	670	2,838
	女	356	786	872	638	2,652
	計	764	1,677	1,741	1,308	5,490
H15	男	298	946	1,069	839	3,152
	女	268	881	1,016	795	2,960
	計	566	1,827	2,085	1,634	6,112
H22	男	670	933	942	229	2,774
	女	601	867	898	260	2,626
	計	1,271	1,800	1,840	489	5,400

1 食事の様子

4-1-1. 大人が手伝わずに毎食自分で食べる（年齢別）

男女とも、「大人が手伝わずに毎食自分で食べる」者は、前回の調査と大きな変化はみられない。

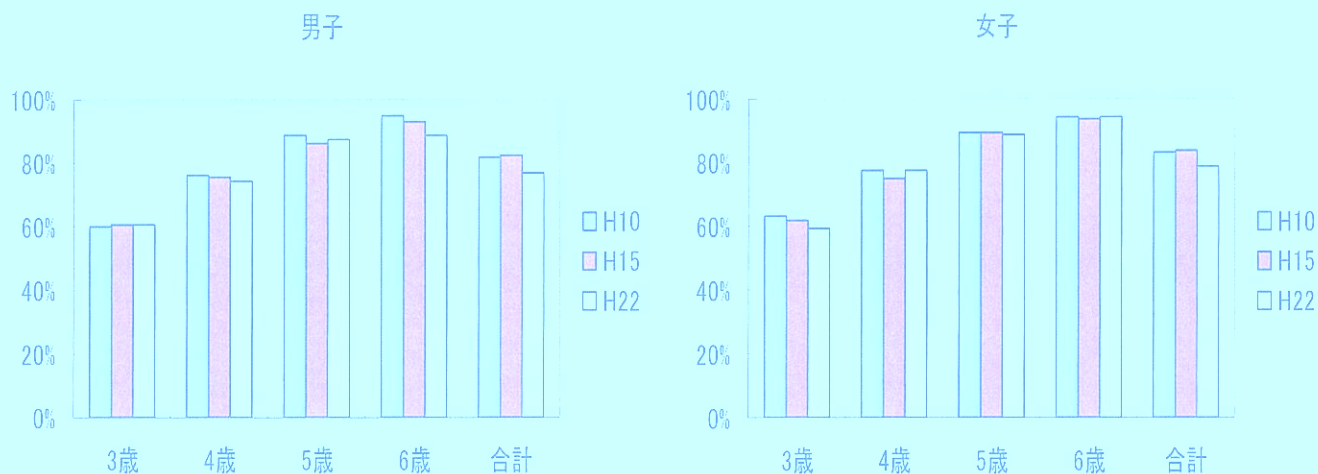


図4-1-1. 大人が手伝わずに毎食自分で食べる（年齢別）

4-1-2. テレビを見ながら食べる（年齢別）

男女とも、「テレビを見ながら食事をする」者は、どの年齢においても前回調査よりも減少している。

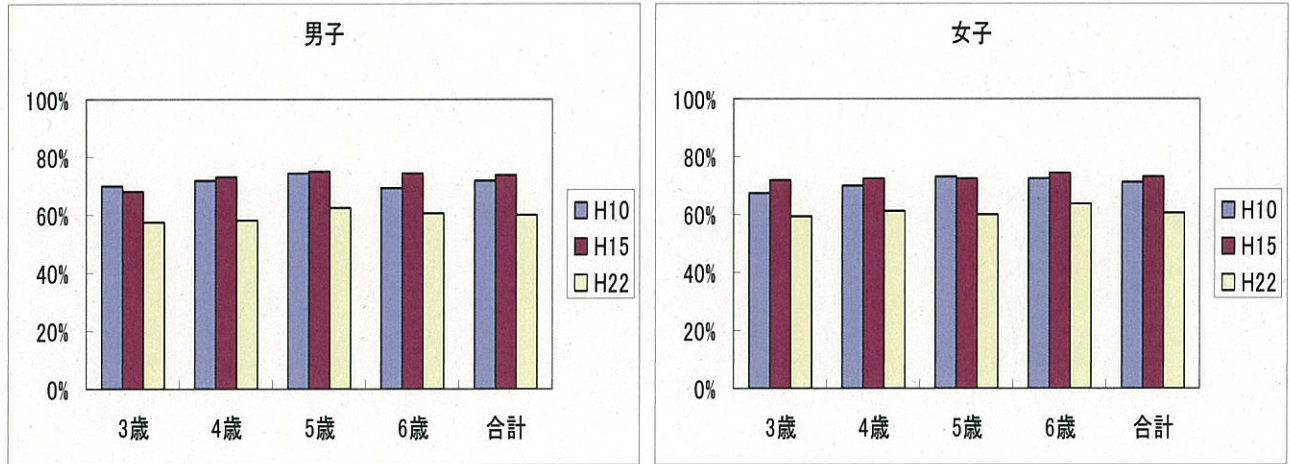


図4-1-2. テレビを見ながら食べる（年齢別）

4-1-3. 野菜をほとんど食べない（年齢別）

「野菜をほとんど食べない」者は、男女とも全体的に前回よりも減少している。特に女子はどの年齢も減少している。

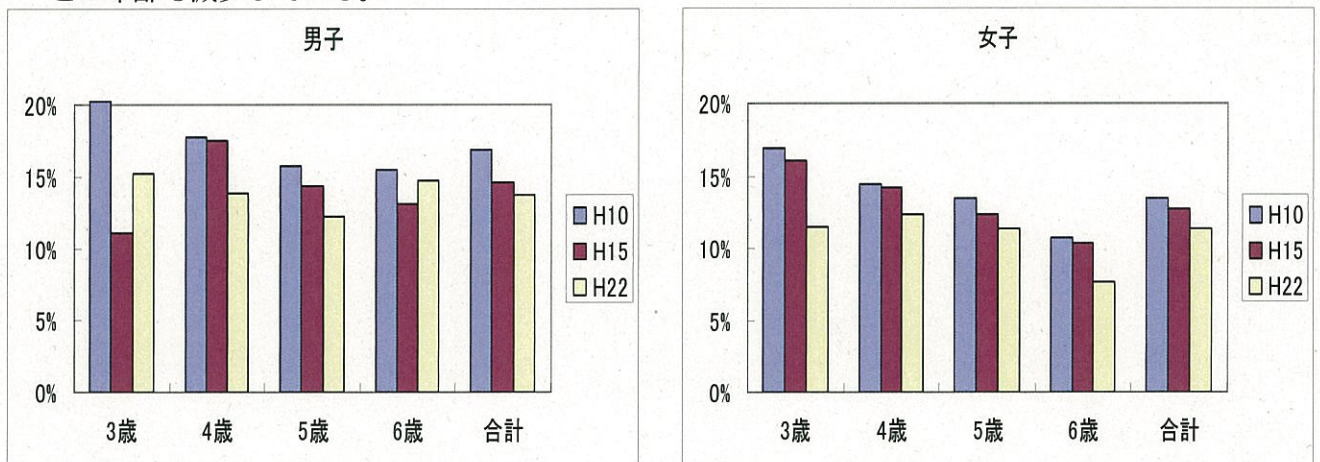


図4-1-3. 野菜をほとんど食べない（年齢別）

4-1-4. お菓子ばかり食べて食事をしない（年齢別）

「お菓子ばかり食べて食事をしない」者は、全体的に前回よりも減少しているが、男子は6歳児のみ増加している。

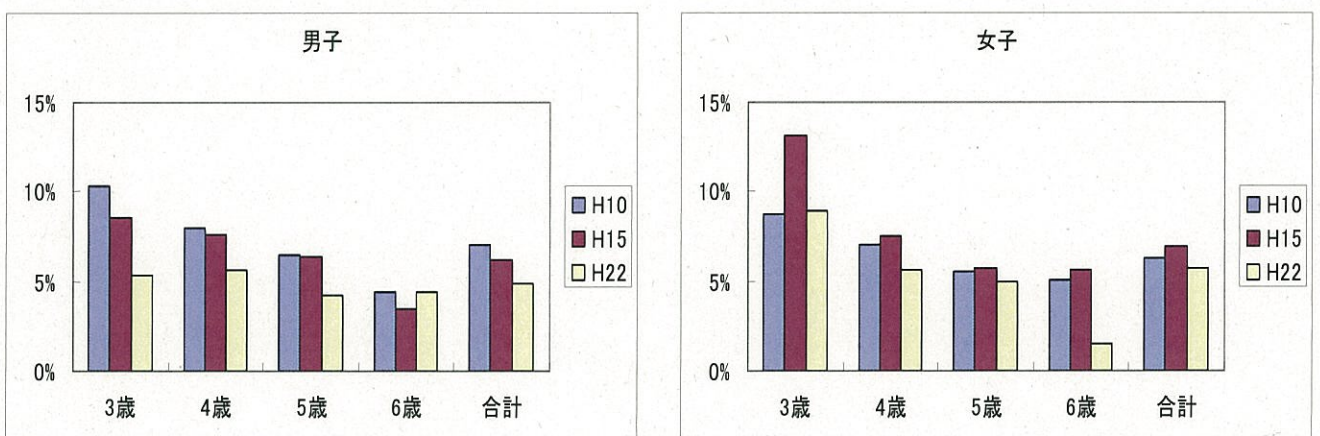


図4-1-4. お菓子ばかり食べて食事をしない（年齢別）

4-1-5. ひじについて食べる (年齢別)

「ひじについて食べる」者は、全体的に男子は増加傾向、女子は減少傾向にある。

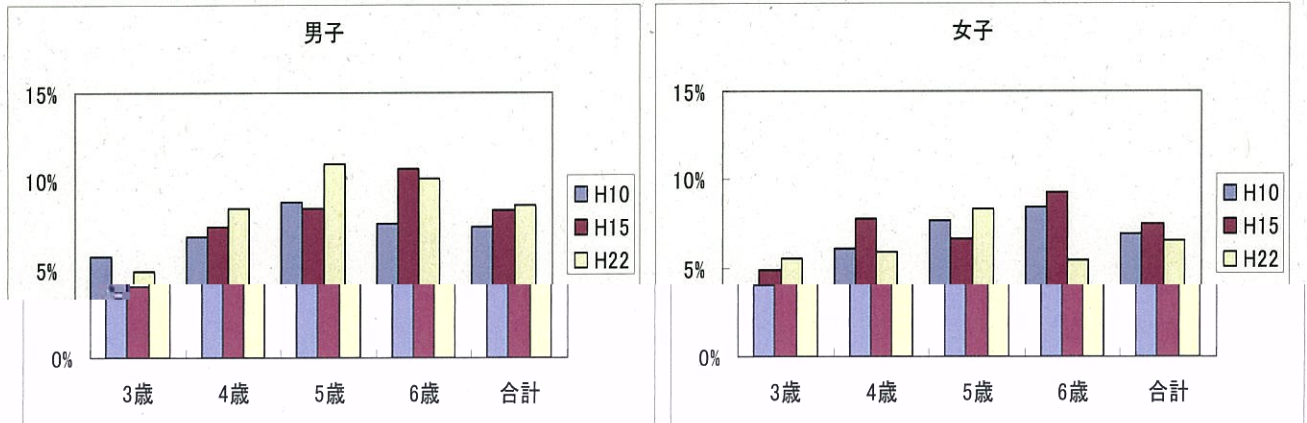


図4-1-5. ひじについて食べる (年齢別)

4-1-6. 好きなものだけ食べる (年齢別)

男女とも、「好きなものだけを食べる」者は、どの年齢においても前回の調査よりも減少している。

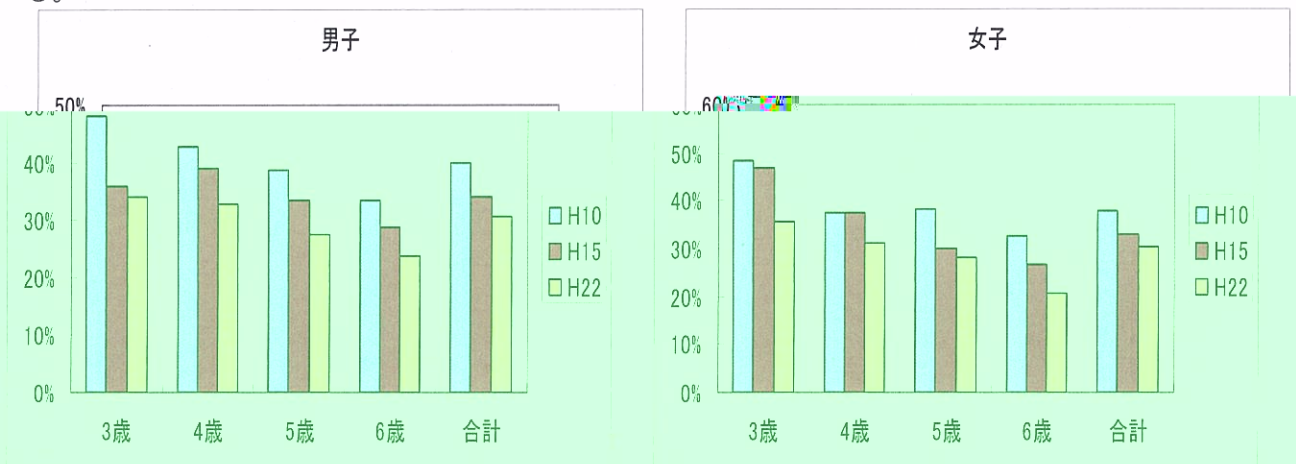


図4-1-6. 好きなものだけ食べる (年齢別)

4-1-7. かまわずに丸飲みする (年齢別)

「かまわずに丸飲みする」者は、男女とも5歳、6歳は減少している。

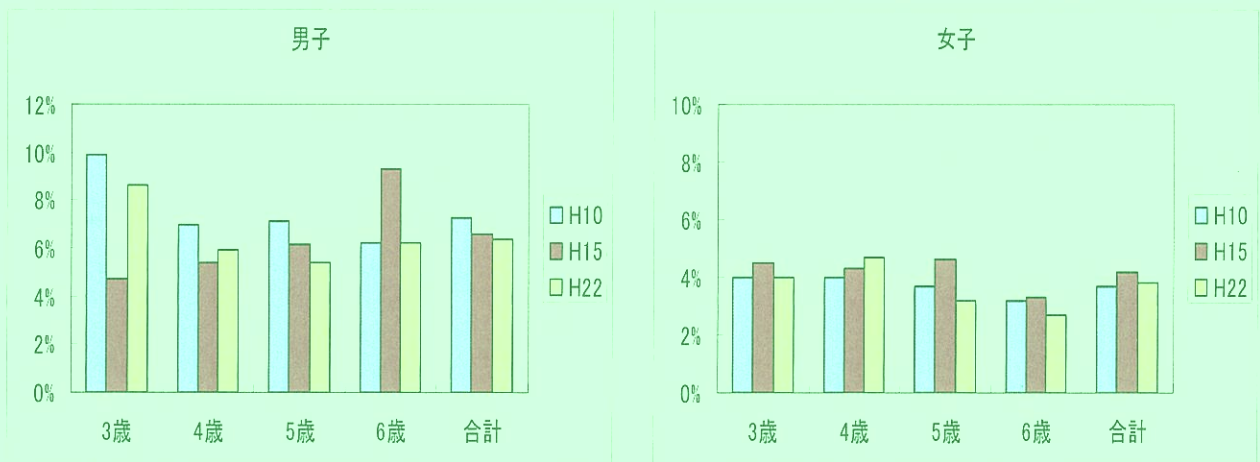


図4-1-7. かまわずに丸飲みする (年齢別)

4-1-8. ぐずぐず（だらだら）食べる（年齢別）

「ぐずぐず（だらだら）食べる」者の割合は、男女とも前回の調査と大きな変化はみられない。

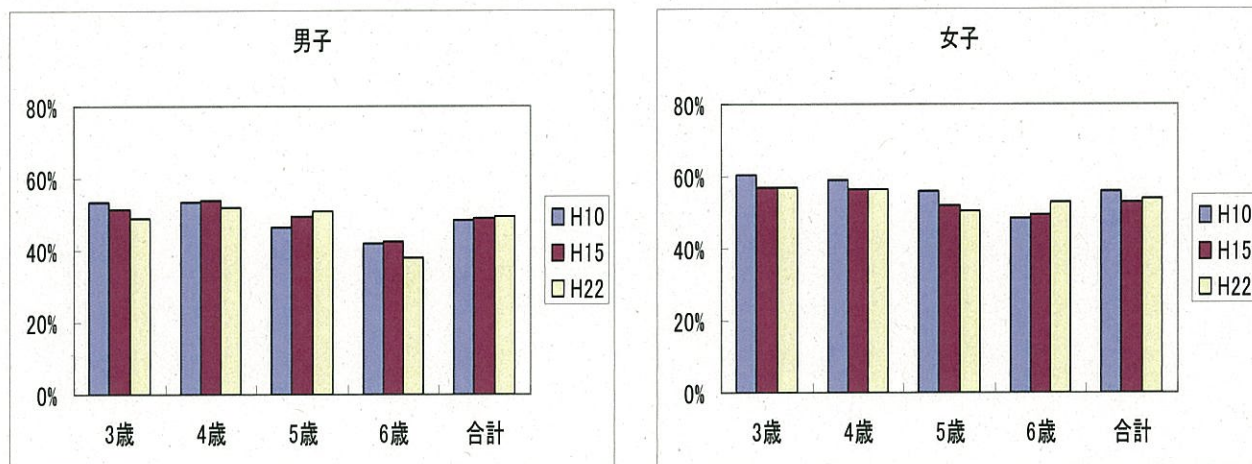


図4-1-8. ぐずぐず（だらだら）食べる（年齢別）

4-1-9. 家族とお話をしながら食べる（年齢別）

男女とも、「家族とお話をしながら食べる」者は、各年齢において90%をこえており、大きな変化はみられない。

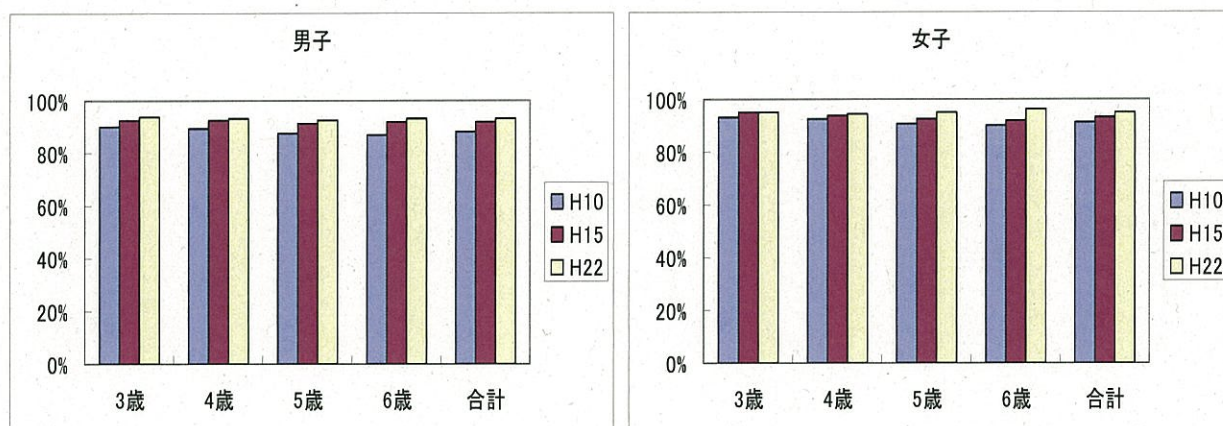
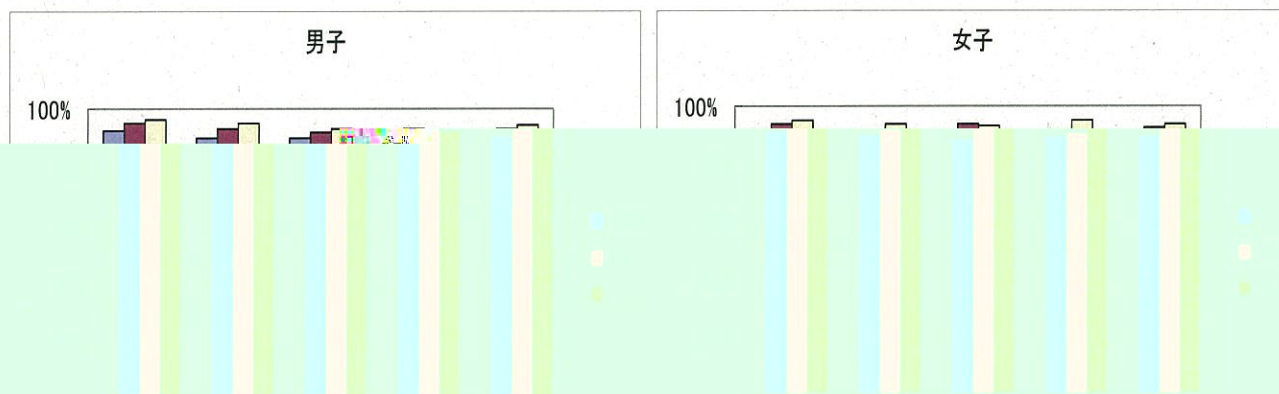


図4-1-9. 家族とお話をしながら食べる（年齢別）

4-1-10. おいしそうに食べる（年齢別）

男女とも、「おいしそうに食べる」者は、各年齢において90%をこえており、今回はさらに増加傾向にある。



2 朝食の摂取頻度

朝食を「毎日食べる」者は、男女ともどの年齢においても前回調査よりも増加している。

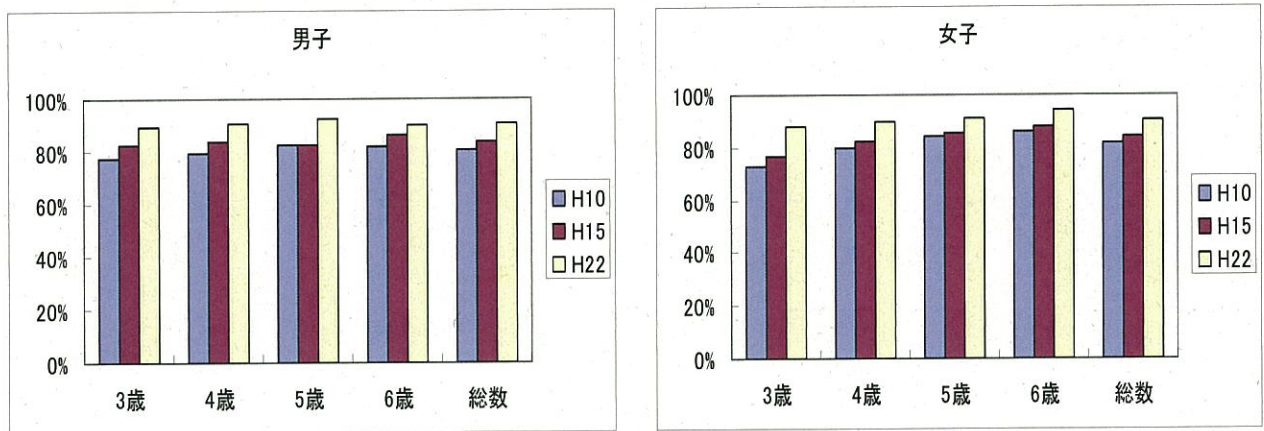


図4-2. 朝食の摂取頻度

3 お手伝いの状況

お手伝いを「いつもしている」者は、男女とも前回調査よりも増加傾向にある。

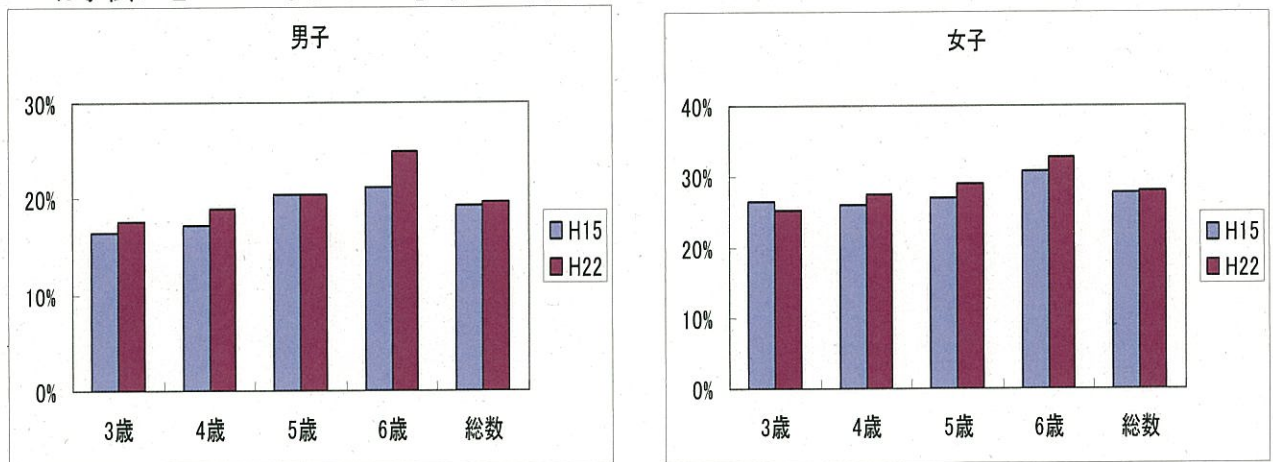


図4-3. お手伝いの状況

4 睡眠の状況

睡眠を「十分とっている」者は、男女とも前回調査よりも増加している。

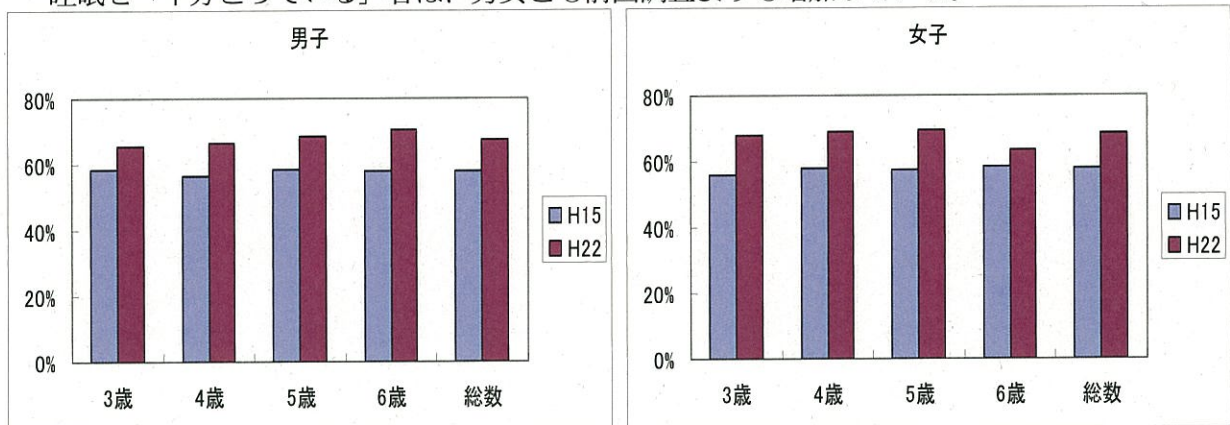


図4-4. 睡眠の状況